AISIN

お絵かき機能付き家庭用ミシン
HOME-USE SEWING MACHINE
with OEKAKI FUNCTION

取扱説明書
INSTRUCTION MANUAL

OEKAKI 50

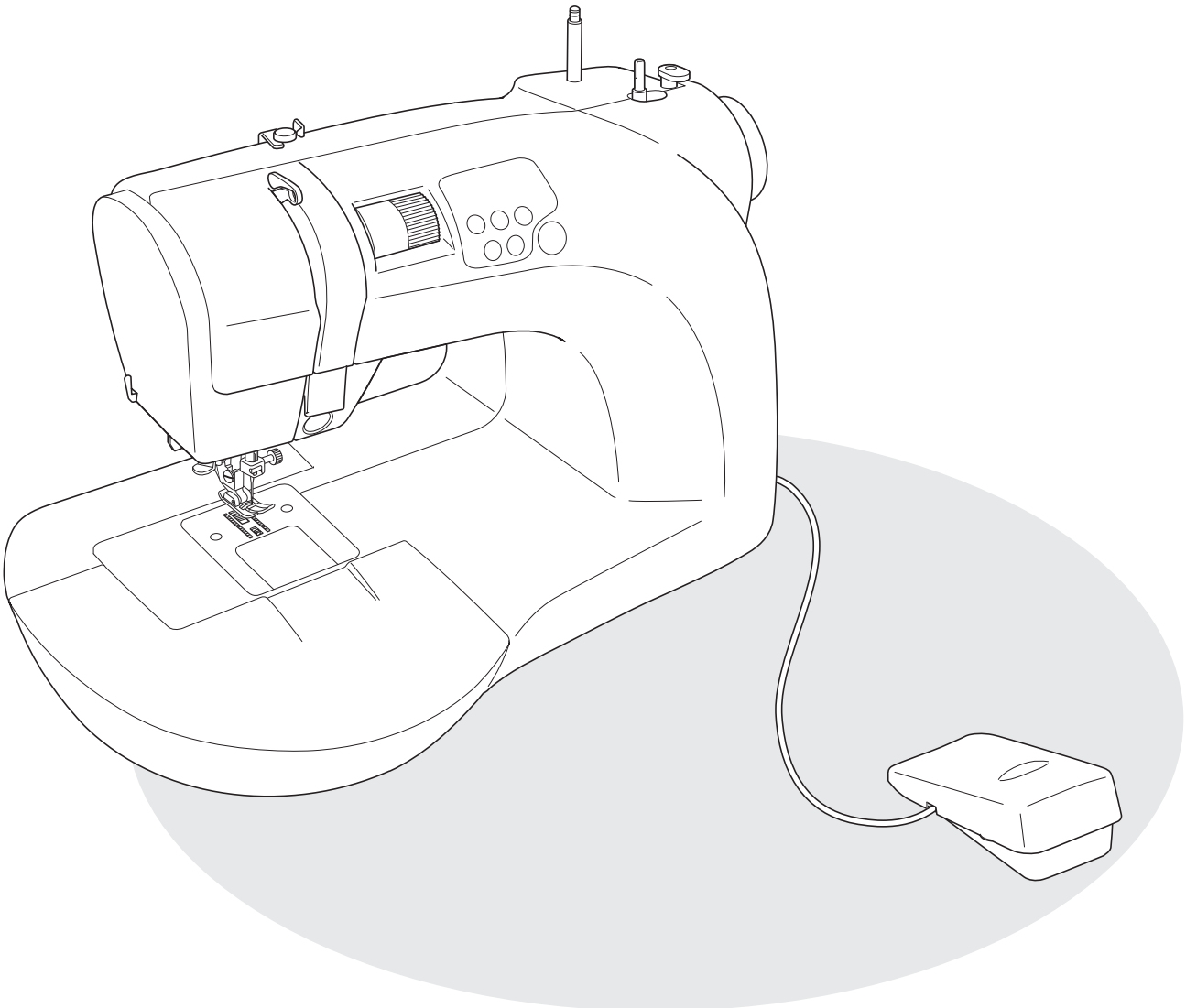
OEKAKI SERIES

ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
取扱説明書は、お読みになった後もいつでも取り出せる場所に大切に保管してください。
他の方にお譲りになる場合は、この取扱説明書もいっしょにお渡しください。

● お使いになる前に

「ぬう」「お絵かき」の2つの機能でオリジナル度アップ!

OEKAKI 50 では、直線ぬいや飾りぬいといった実用ぬいのほか、自由自在な刺しゅうが楽しめる「お絵かき」機能を搭載。フットコントローラーを使った簡単な操作で、魅力的な作品づくりをお楽しみください。

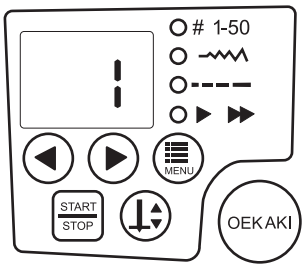


パネルでワンタッチ切り替え

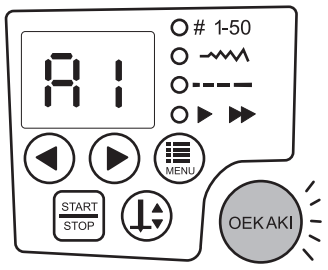
ボタンを押すだけで「実用ぬい」と「お絵かきぬい」の縫製モードが切り替えられます。

＊モードを切り替えたときは、押えの交換が必要です。

実用ぬい



お絵かきぬい

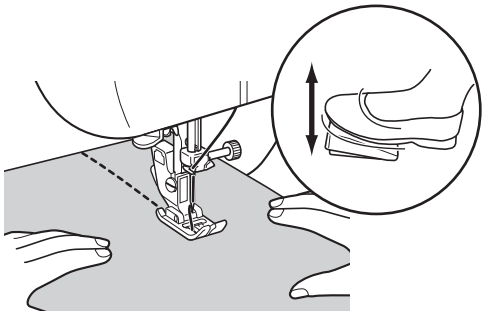


モードで変わる フットコントローラー操作

フットコントローラーの踏み込み加減によって、「実用ぬい」のときはぬい速度調整、「お絵かきぬい」のときはぬい幅調整と、操作の内容が変わります。

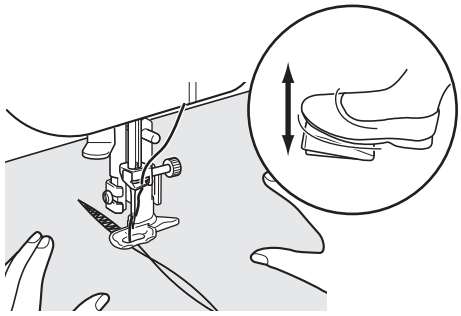
実用ぬい

ぬい速度調整



お絵かきぬい

ぬい幅調整



目次

1 付属品の確認をしましょう

付属品 6
別売品のご案内 8

2 安全上のご注意

ご使用前に必ずお読みください 10

3 このミシンの機能について

各部の名前 14
操作パネルの名前 16
各部の使い方を覚えましょう 17
フットコントローラーの使い方 18
クイックアドバイザーの使い方 20

4 ぬう前のミシンの準備

電源のつなぎ方 22
正しい針の見分け方 23
針の取り替え方 24
押えの取り替え方 25
押えホルダーの取り替え方 27

5 ミシンに糸をセットする

下糸をボビンに巻く 28
下糸をセットしましょう 32
上糸をかけましょう 34
糸通しレバーを使ってみましょう 38
下糸を引き上げる 42

6 実用ぬい

模様の種類の設定 44
模様の幅の設定 45
ぬい目の長さの設定 46
ぬい速度の設定 47
ぬい模様の種類 48
針・糸・布地の組み合わせと上糸調子の調整 52

7 ぬってみましょう（実用ぬい）

基本編 54
- ■ 直線ぬい 54
- ■ ぬい終わり 55
- ■ 糸切り 55
- ■ 返しぬい 55
- ■ 半針ぬい 56

応用編 57
- ■ ジグザグぬい 57
- ■ 裁ち目かがりぬい 58
- ■ まつりぬい 60
- ■ ジーンズの裾上げ 62
- ■ ボタンホールぬい 65
- ■ ファスナー付け 67

8 お絵かきぬいの基礎知識

お絵かきぬいの特徴 70

お絵かきぬいのときの針と糸と布地の関係と糸調子の合わせ方 71

9 ぬってみましょう（お絵かきぬい）

お絵かきぬいの準備 72

お絵かきぬいの練習 76

しつけぬいのし方 80

10 よくある質問

厚い布地・薄い布地をぬいたい 82

筒物の布地をぬいたい 82

レザーやビニール地をぬいたい 83

等間隔でぬいたい 83

上糸調子の調整 84

布がミシンから取れなくなった 86

11 困ったときには

ミシンの調子が悪いとき 88

エラー表示が出たとき 92

12 ミシンのお手入れと保管

送り歯とかまのお手入れ 94

保管方法とお願い 99

13 保証とアフターサービス

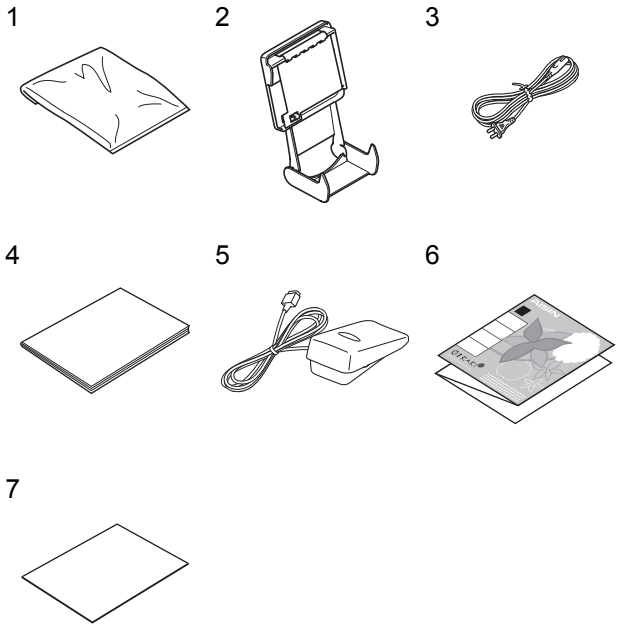
仕様 101

1　付属品の確認をしましょう

付属品

箱をあけたら、以下の付属品が揃っているか確認してください。

■梱包箱に入っている付属品

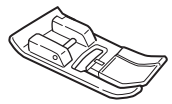


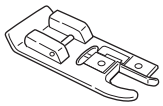
1　ソフトカバー（×1）
2　クイックアドバイザーホルダー（×1）
3　電源コード（×1）
4　取扱説明書（本書）（×1）
5　フットコントローラー（×1）
6　スターターキット（×1）
　＊ お絵かきぬいの練習用
7　保証書（×1）

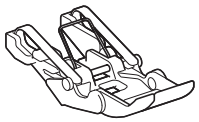
注記

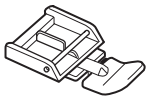
- 指定以外のコントローラー（機器）は接続しないでください。
- 電源コードは、この製品以外には使用しないでください。
- 電源コードを延長して使用しないでください。
- 本製品に付属のフットコントローラー以外は使用しないでください。

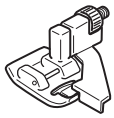
■補助テーブルに入っている付属品

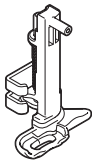
1

＊ 本体にセットされています

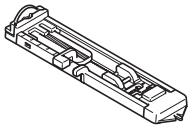
2


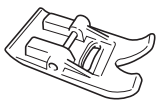
3


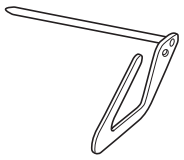
4


5


6


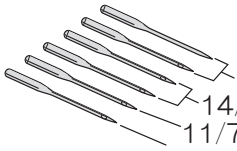
7


8


9


10

11

12

18/110番-2本
14/90番-2本
11/75番-1本
ボールポイント 11/75番-1本

13

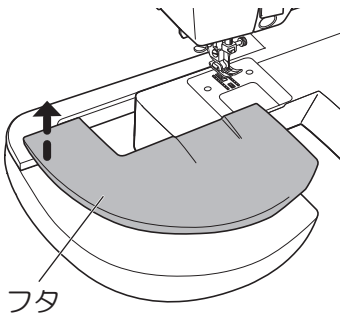
1 ジグザグ押え（×1）
2 裁ち目かがり押え（×1）
3 段ぬい押え（×1）
4 ファスナー押え（×1）
5 まつりぬい押え（×1）
6 お絵かきぬい押え（×1）
7 ボタンホール押え（×1）
8 スムース押え（×1）
9 キルティングガイド（×1）
10 針板ドライバー（×1）
11 リッパー（×1）
12 針
13 樹脂ボビン（×5）
＊ 1 個は本体にセットされています

お願い

- 必ず **AISIN-1** と書かれたボビンをご使用ください。専用ボビンは http://www.egatama.jp からご購入いただけます。または、購入先にお問い合せください。

ワンポイント

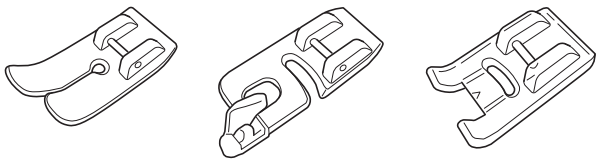
付属品の一部は、補助テーブル内の収納スペースに入っています。補助テーブルのフタを開けて、取り出してください。



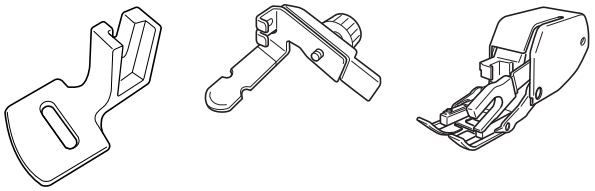
別売品のご案内

ミシンをより広く活用していただくために、種々の別売品をご用意しております。

1 2 3



4 5 6



1 **直線用押え**
直線ぬい専用の押えです。
薄地をぬうときに便利です。

2 **三つ巻き押え**
布端を三つ巻きぬいします。ハンカチやスカーフなどの端をぬうときに使います。

3 **透明押え**
押えが透明なので、ぬい目が見やすく、下絵やぬい線を描いたところをぬうのに便利です。

4 **ギャザー押え**
簡単なフリルやレースのギャザーよせができます。

5 **パイピング押え**
片押えなので、パイピングテープを付けるのに便利です。

6 **上送り押え**
布を上側から送るので、ぬいズレを起こしやすいキルト素材や伸縮素材にも適しています。

■別売品の購入方法

当社ホームページからご購入いただけます。（http://www.egatama.jp）
パソコンをお持ちでない方は、以下弊社窓口へお問い合わせください。
アイシン精機株式会社　お客様相談室　0120-24-8640（フリーダイヤル）
受付時間 : 8:30 ～ 17:30
（土日・年末年始・ゴールデンウィーク・夏季休暇は除く）

メモ

2　安全上のご注意

ご使用前に必ずお読みください

誤った取り扱いをしたときに生じる危害や損害を未然に防ぐための、安全上の注意事項です。よくお読みのうえ必ずお守りください。

■「⚠ 警告」「⚠ 注意」の意味

⚠ 警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性や物的損害の発生が想定される内容を示しています。

■絵表示の意味

	触れる行為の禁止
	してはいけない行為
	必ず行っていただくこと
	電源プラグをコンセントから抜く

⚠ 警告	
	電源は交流 100V で使用する。 感電・火災の原因になります。
	電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったりしない。 感電・火災の原因になります。 もし電源コードが損傷したときは本モデル専用コードをお求めください。

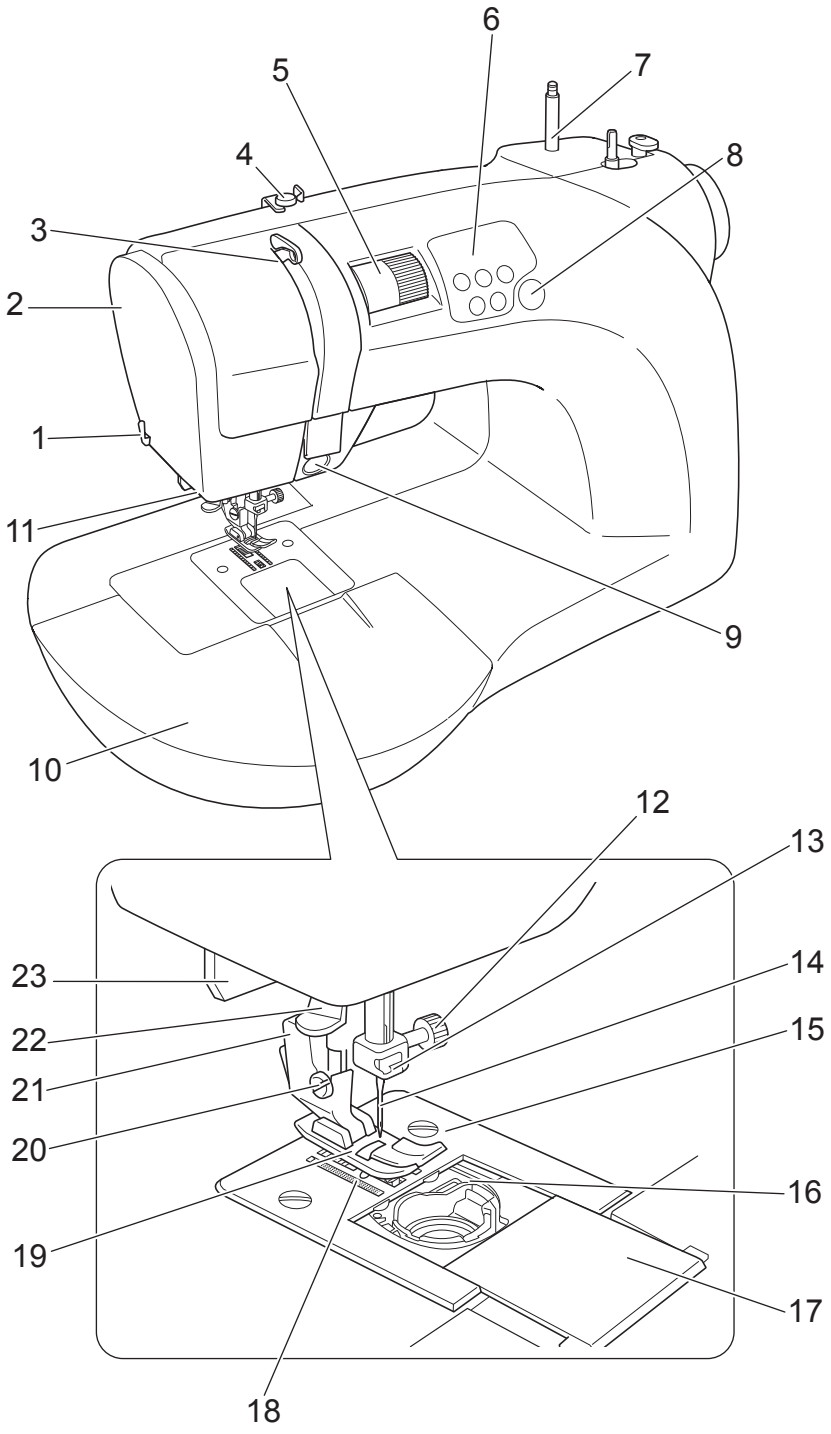
⚠ 注意	
	すべり板は閉じて使用する。 ケガの原因になります。
	針交換や上糸・下糸をかけるときは電源スイッチを「切」にする。 ケガの原因になります。
	ミシンを操作中は、針から目を離さない。 ケガの原因になります。
	針、プーリーなど動いている部分に触れない。 ケガの原因になります。
	針の下に指を入れない。 ケガの原因になります。
	お子様がご使用になるときは、保護者の指導のもとに使用する。 ケガの原因になります。
	小さなお子様の近くでは使用しない。 針などに触れてケガをする原因になります。
	ミシンの使用後、ミシンから離れるときは、電源スイッチを「切」にし、電源プラグをコンセントから抜く。 ケガの原因になります。
	ミシンを使用する前に押えホルダー止めネジ・針止めネジがしっかり締まっていることを確認する。 ケガの原因になります。
	カバーを取り外す時、油を差す時、その他取扱説明書に記載のお手入れをユーザーが行うときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く。 ケガの原因になります。
	次のような行為をしない。 ケガの原因になります。 ・ 押えを下げずにぬう。 ・ 針の取り付けが間違ったままぬう。 ・ 不良針を使用する。 ・ 布を引っ張ってぬう。

⚠ 注意	
	修理、分解、改造はしない。 感電・火災や異常作動によるケガの原因になります。
	このミシンは、この取扱説明書に記載の使用目的にのみ使用する。 ケガや故障の原因になります。
	この取扱説明書に記載する、メーカーの推奨付属品のみを使用する。 ケガや故障の原因になります。
	面板、ボビンケースを取り外す場合に、すき間に物を落としたり、挿し込んだりしない。 ケガや故障の原因になります。
	換気口を塞いだ状態でミシンを操作しない。ミシンの換気口やフットコントローラーはチリ、ホコリ、その他物質が積もらない状態にする。 ケガや故障の原因になります。
	外では使わない。 感電・火災の原因になります。
	スプレー製品が使用されている場所や酸素が投与されている場所では、操作しない。 火災の原因になります。
	ミシンを使用しないときは、人がミシンの上に倒れた場合、突出部分がケガの原因となるため、床の上ではなく、安全に保管する。 ケガの原因になります。
	ソファやベッドのような不安定な表面の上では運転しない。 ミシンが落ちた場合、ケガや故障の原因になります。
	電源スイッチを「切」にしてから、プラグを抜く。 ケガや故障の原因になります。
	8 歳以下のお子様や身体的、感覚的、精神的、または経験や知識不足の方は、監督者の下またはミシンを安全に使え、ミシンの危険を理解している人の下でしか使用してはなりません。

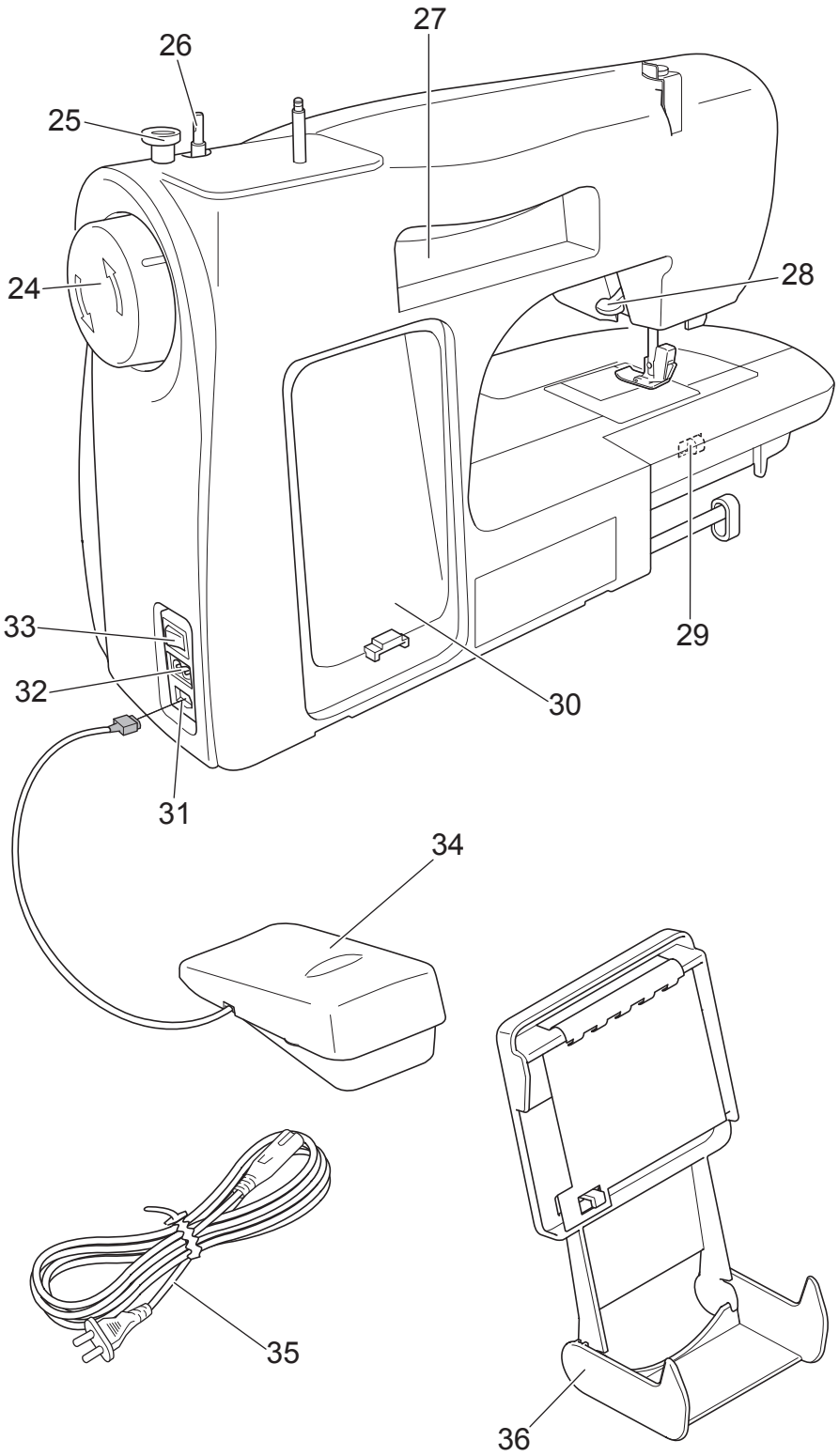
メモ

3　このミシンの機能について

各部の名前



1 糸切り
2 面板
3 天びん
4 糸案内
5 上糸調子ダイヤル
6 操作パネル
7 スプールピン
8 お絵かきボタン
9 返しぬいボタン
10 補助テーブル
11 LED ライト（内蔵）
12 針止めネジ
13 針棒糸かけ
14 針
15 針板
16 ボビンケース
17 すべり板
18 送り歯
19 押え
20 押えホルダー止めネジ
21 押えホルダー
22 糸通しレバー
23 ボタンホールレバー



24 プーリー

25 ボビンストッパー

26 下糸巻き軸

27 持ち運び用取っ手

28 押え上げレバー

29 ドロップフィードレバー

30 フットコントローラー収納場所

31 フットコントローラー用ジャック

32 ターミナルボックス

33 電源スイッチ

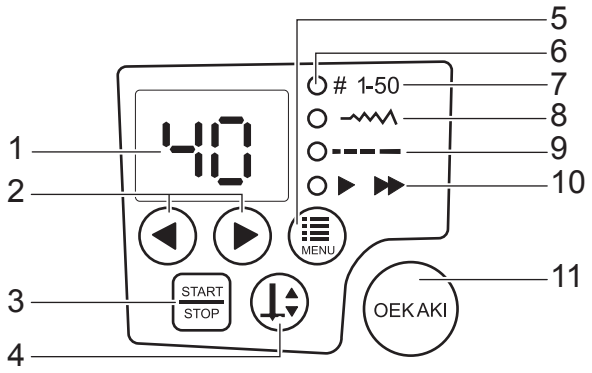
34 フットコントローラー

35 電源コード

36 クイックアドバイザーホルダー

操作パネルの名前

前面の操作パネルで、各種の設定をすることができます。



1 LED 画面

選択した模様の番号や、設定した数値、ぬい速度を表示します。設定切替 LED が点灯している設定を表示します。

2 ◀▶（設定量変更）ボタン

模様の選択や、設定した数値の変更ができます。

3 START/STOP（スタート / ストップ）ボタン

ミシンをスタートさせるときと、ストップさせるときに押します。

4 （針上下停止）ボタン

1 回押す毎に、針が上で停止 / 下で停止に切り替わります。ぬい方向を変えるときや、細かいところをぬうときに使用します。

5 MENU（設定切替）ボタン

1 回押す毎に、設定が 7 ～ 10 に切り替わります。

6 設定切替 LED

MENU（設定切替）ボタンで選択中の設定が点灯します。点灯中の設定のみ、◀▶（設定量変更）ボタンで変更できます。

7 模様の種類の設定

実用ぬいモードで選択中のぬい模様の番号が表示されます。

8 模様の幅の設定

選択した模様の振り幅を変更できます。

9 ぬい目の長さの設定

選択した模様のぬい目の長さを変更できます。

10 ぬい速度の設定

ぬい速度を変更します。◀を押すとゆっくり、▶を押すと速くなります。模様ごとに個別設定しても、設定したぬい速度は維持されます。

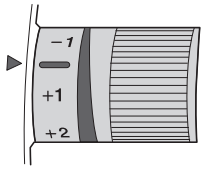
11 OEKAKI（お絵かき）ボタン

1 回押す毎に、実用ぬいモードとお絵かきモードが切り替わります。お絵かきモードのときは、緑色に点灯します。

各部の使い方を覚えましょう

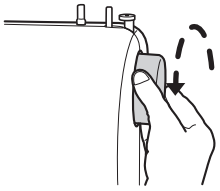
ミシン本体を見ながら、各部の使い方を覚えましょう。

上糸調子ダイヤル



上糸の調子を強くしたり弱くしたりすることができます。

プーリー

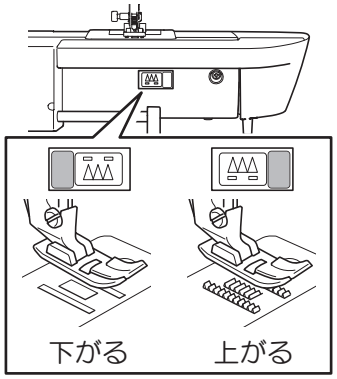


針を手動で上下させることができます。

お願い

- プーリーは、必ず手前（矢印の方向）に回してください。
  反対側に回すと、糸がからむ原因になります。

ドロップフィードレバー

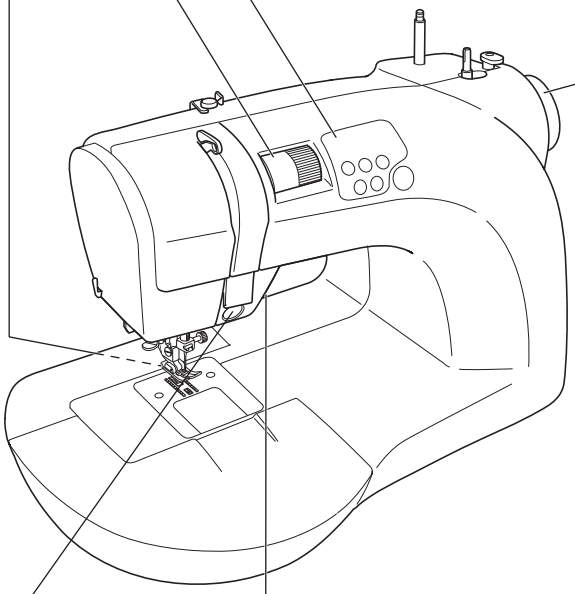


本体背面にあるドロップフィードレバーで、送り歯を上げたり下げたりすることができます。

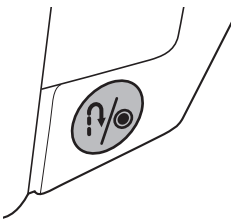
ワンポイント

ドロップフィードレバーを切り替えるときは、針を上げてから行います。
また、送り歯を上げるときはレバーを切り替えたあと、プーリーを手前に 1 回転させてください。

操作パネル
（16 ページ参照）

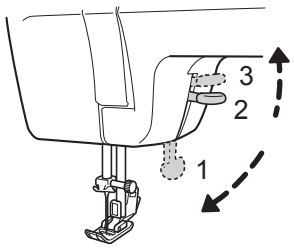


返しぬいボタン



- 直線模様のときは、返しぬいボタンを押している間、返しぬいをします。スタート／ストップボタンを押さなくても、返しぬいボタンを押すだけで返しぬいをします。
- 直線模様以外のときは、3 針の留めぬいをして止まります。

押え上げレバー



- ぬうときは、押え上げレバーを下げ、押えをセットします。(1)
- 布をセットするときは、押え上げレバーを上げると押えが上がります。(2)
- 押え上げレバーを、(3) の位置に上げると、押えはさらに上がります。

＊(3) の位置では止まりませんので、手で持ったまま布地を入れてください。厚い布地を入れるときに便利です。

フットコントローラーの使い方

⚠ 注意

フットコントローラーは、必ず電源スイッチを「切」にしてから接続する。
ケガの原因になります。

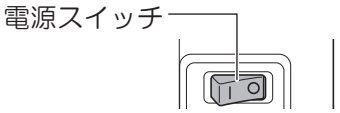
注記

・ フットコントローラーを本体に接続しているときは、スタート／ストップボタンを押してもミシンはスタートしません。ぬい終わりは、スタート／ストップボタンでも止められます。

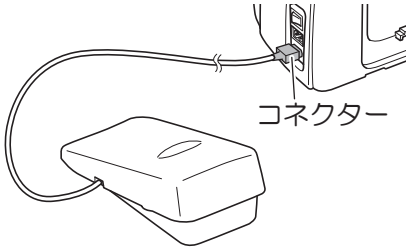
■使い方

1 ミシンの電源スイッチの「○」側を押し、電源を切る。

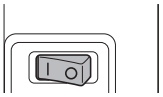
＊ 電源のつなぎ方は 22 ページを参照してください。



2 フットコントローラーコードのコネクターをフットコントローラー用ジャックに差し込む。



3 ミシンの電源スイッチの「I」側を押し、電源を入れる。

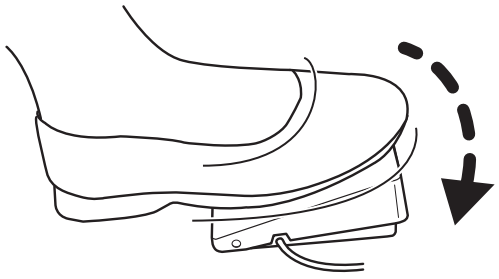


4 フットコントローラーを踏むとミシンが動きます。

フットコントローラーを踏み込んでいくと、ミシンは速くぬいます。
フットコントローラーから足をはなすとミシンは止まります。

＊「ぬい速度の設定」で設定した速度（47 ページ参照）がフットコントローラーを踏み込んだ時の最高速度になります。

＊「お絵かきぬいモード」では、フットコントローラーの操作によって振り幅が変わります。（70 ページ参照）



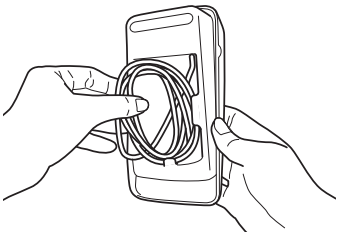
注記

・ 指定以外のコントローラー（機器）は接続しない。
フットコントローラーコードをフットコントローラー用ジャックから抜く場合は、電源を切ってください。

■フットコントローラーの収納

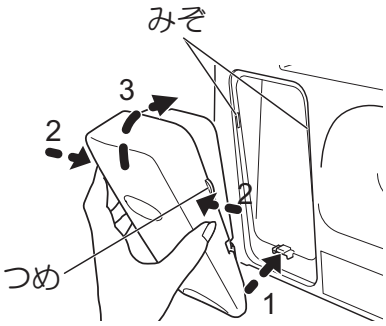
フットコントローラーを使用しないときは、ミシンの背面に収納できます。

1　コードを束ねて、フットコントローラーの内側に入れる。



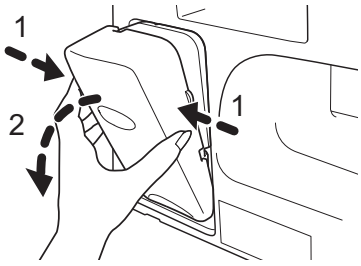
2　ミシン背面の収納場所に、図のようにはめ込む。

＊ フットコントローラー側面のつめと、収納場所のみぞを合わせてください。



■取り外し方

フットコントローラーの側面（つめの付近）を指で押しながら手前に引く。



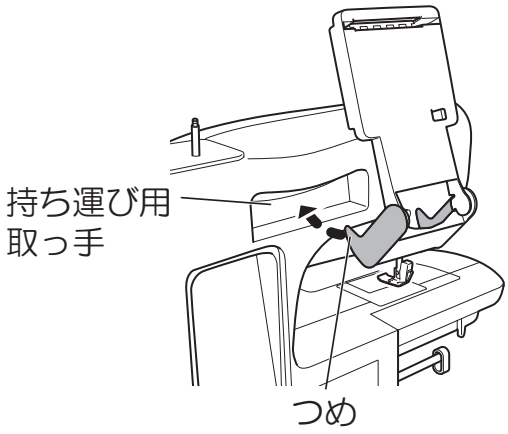
クイックアドバイザーの使い方

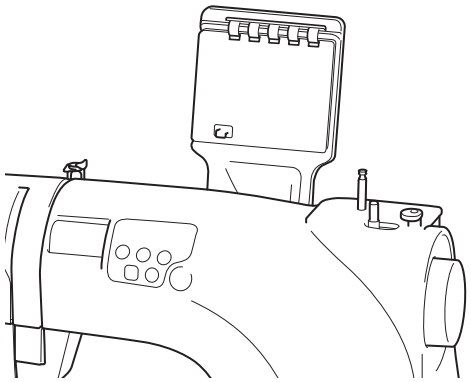
基本的な操作方法の確認や模様を選択するときは、クイックアドバイザーを参照してください。

■ ミシンに取り付ける

ミシンに取り付けると、基本的な操作方法や模様を手軽に確認できます。

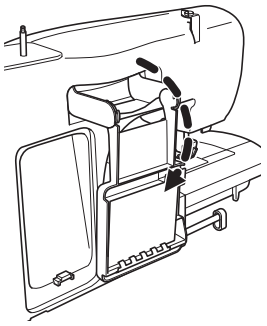
ミシン背面の取っ手に、クイックアドバイザーのつめを引っかけて立てかける。





＊ クイックアドバイザーを使用しないときは、ミシンの背面に折りたたんで収納できます。

＊ ミシンが倒れないように、ミシン本体を押さえてクイックアドバイザーを折りたたんでください。



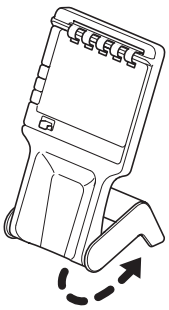
お願い

- クイックアドバイザーを取り付けた状態で、強い力で押さないでください。破損することがあります。

■ テーブルに置く

ミシンから外して、テーブルなどお好みの場所に置くこともできます。

クイックアドバイザーの脚を図のように広げる。



メモ

4　ぬう前のミシンの準備

電源のつなぎ方

⚠ 警告

濡れた手で電源プラグに触れない。
感電の原因になります。

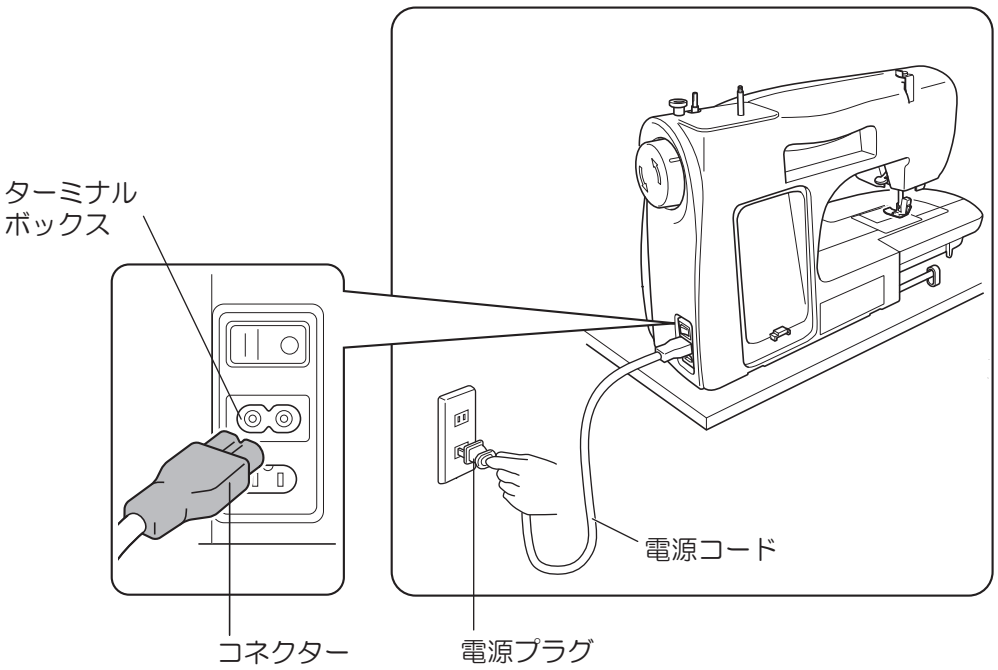
電源プラグを抜くときは電源プラグを持つ。
電源コードが傷み、感電・火災・ケガの原因になります。

⚠ 注意

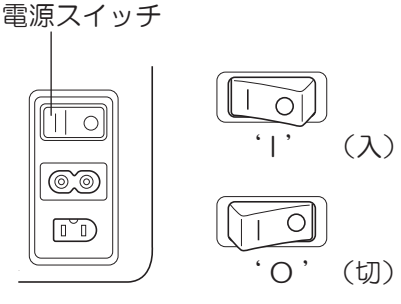
電源プラグを差し込むときは電源スイッチを「切」にする。
ケガの原因になります。

1　電源コードのコネクターをターミナルボックスに差し込む。

2　電源プラグをコンセントに差し込む。



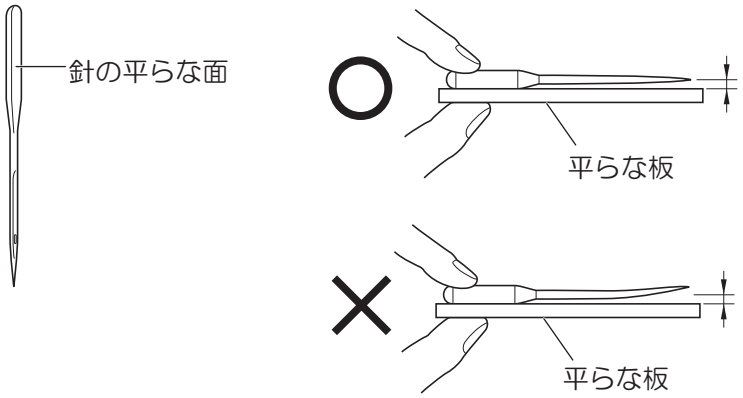
3　電源スイッチを「I」（入）の方に押す。
電源が入ります。



正しい針の見分け方

針はまっすぐで先のとがった正しい針をお使いください。下記のような不良針は使用中に折れ、折れた針先が目や皮膚に刺さる恐れがあり大変危険です。

	針全体の状態	針先の状態
正しい針	まっすぐ	とがっている
不良針	まっすぐ	つぶれているか曲がっている
	曲がっている	どんな状態でも



■その他の不良針

- 針先がつぶれている

- 針先が曲がっている

⚠ 注意

不良針は使わない。
不良針を使うと、ぬえないばかりでなく、針板やかまにキズがついたり、針が折れてケガの原因になります。

お願い

- 針先のつぶれや曲がりは目で見て分かりにくいことが多いので、ぬい調子で判断することをおすすめします。
  ぬい調子が悪い場合は無条件で新しい針に交換してください。

針の取り替え方

⚠ 注意

針を取り替えるときは、電源スイッチを「切」にする。
ケガの原因になります。
折れた針は 必ず回収する。
ケガの原因になります。

ワンポイント

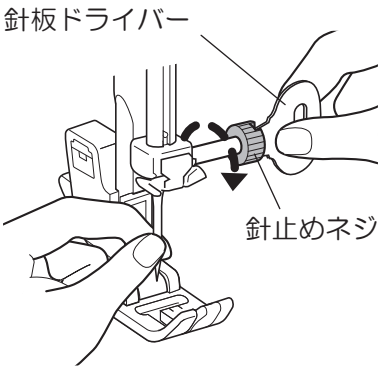
針板の穴に針が落ちないよう、針板の上に紙や布を敷いて交換することをおすすめします。

1　プーリーを手前に回して針先を針板より上にする。

＊ 針を最上部まで上げた状態では針板ドライバーが回りません。

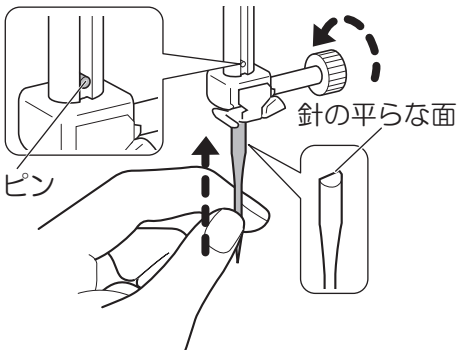
2　片手で針を持ち、付属の針板ドライバーで針止めネジをゆるめて針を抜き取る。

＊ 針止めネジは針が抜きとれる程度にゆるめてください。



3　針の平らな面を後ろ側に向け、ピンにあたるまで差し込み、針止めネジを針板ドライバーでしっかり締め付ける。

＊ ピンに針をあてていないと、きれいにぬうことができません。



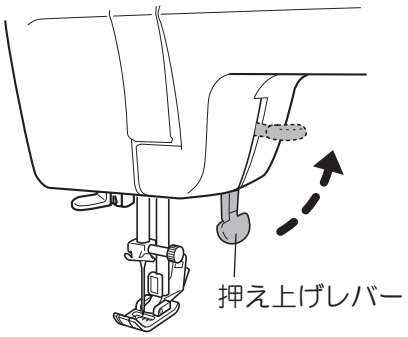
押えの取り替え方

⚠ 注意

押えを取り替えるときは、電源スイッチを「切」にする。
ケガの原因になります。
各種押えを取り替えるときは、押えに針が当たらないことを確認する。
針が折れてケガの原因になります。

■取り外し方

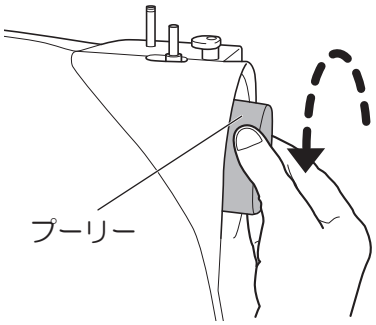
1　押え上げレバーを上げる。



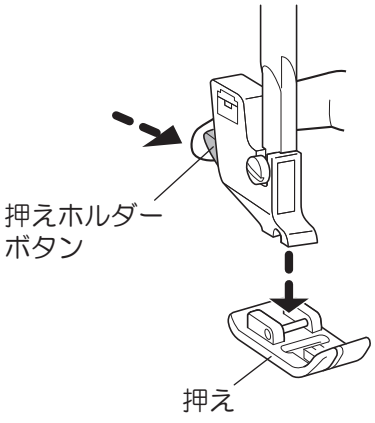
2　プーリーを手前に回し、針を上げる。

お願い

- プーリーは必ず手前に回してください。
  反対側に回すと糸がからむ原因になります。

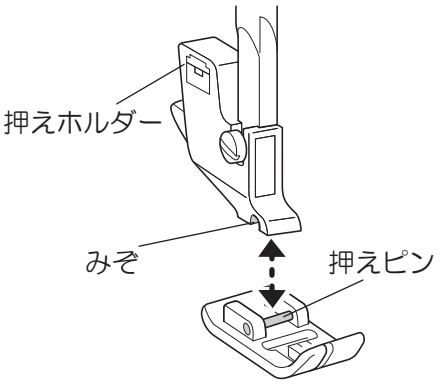


3　押えホルダーボタンを矢印の方向に押し、押えを外す。



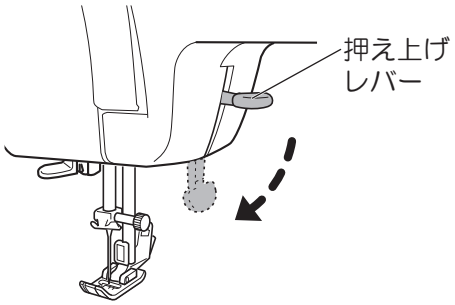
■取り付け方

1　押えホルダーのみぞの真下に押えピンがくるように置く。



2　押え上げレバーを下げ、押えをセットする。

＊ 押え上げレバーを再度上げて、押えが確実についていることを確認してください。



ワンポイント

押え紛失防止のため、ミシンを使い終わった後は、針と押えを下げて収納することをおすすめします。
送り歯を保護するために、押えの下に布を置いてください。

押えホルダーの取り替え方

⚠ 注意

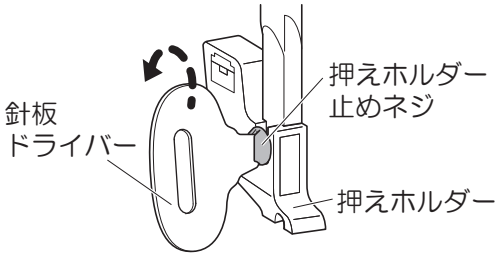
押えホルダーを取り替えるときは、電源スイッチを「切」にする。
ケガの原因になります。

■取り外し方

1 **押え上げレバーを上げる。**

2 **「押えの取り替え方」（25 ページ参照）の手順に従って、押えを取り外す。**

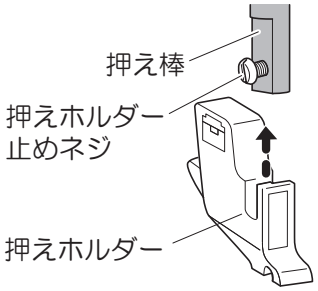
3 **右手で押えホルダーを支え、左手で針板ドライバーを奥に回して、押えホルダー止めネジをゆるめる。**



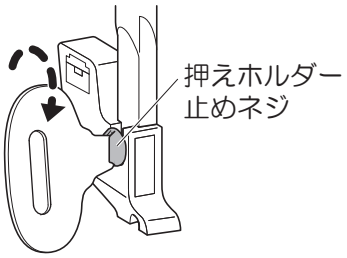
■取り付け方

1 **押え上げレバーを上げる。**

2 **押えホルダーを押え棒に合わせる。**



3 **右手で押えホルダーを押えホルダー止めネジにあたるまで押し上げて支え、左手で針板ドライバーを手前に回して押えホルダー止めネジをしめる。**



⚠ 注意

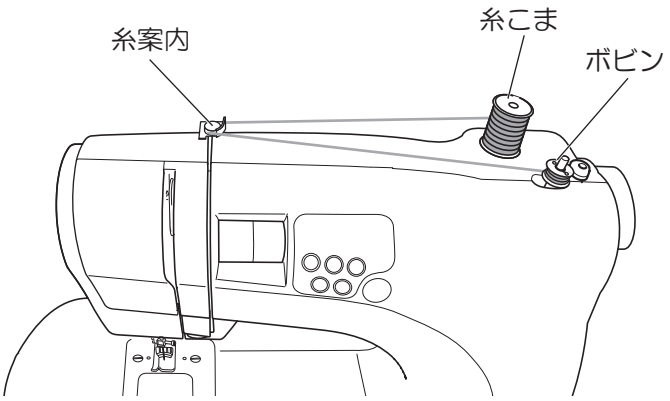
ネジは付属のドライバーでしっかりしめて、針が押えにあたらないことを確認する。
ネジのしめ方がゆるいと、針が押えにあたって、折れたり曲がったりしてケガの原因になります。

お願い

- 押えホルダーを正しく取り付けていないと、針と押えが接触することや正しいぬい目にならないことがあります。

5　ミシンに糸をセットする

下糸をボビンに巻く



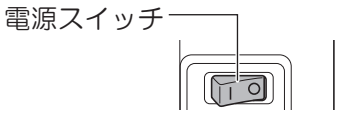
お願い

- 糸こまと **AISIN-1** と書かれたボビンを用意してください。
  専用ボビンは、当社のホームページ
  （http://www.egatama.jp）からご購入いただけます。
  または、購入先にお問い合わせください。

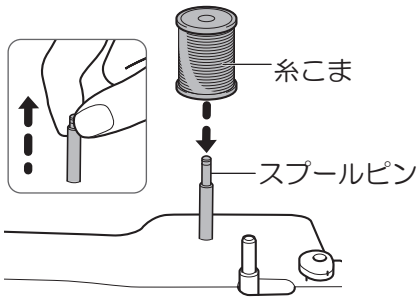
⚠ 注意

下糸を巻いているときは、下糸巻き軸およびプーリーに触れない。
ケガの原因になります。

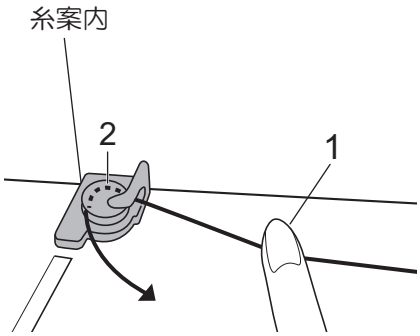
1　電源を切る。



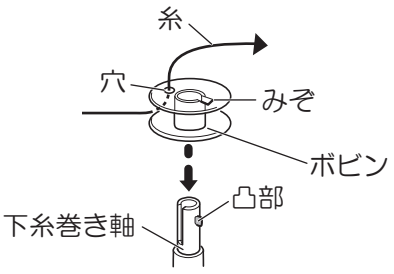
2　スプールピンを引き上げ、糸こまを入れる。



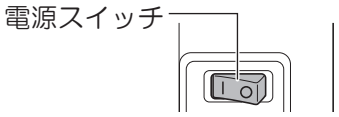
3　糸こまから糸を引き出し、右手で糸を押さえ（1）、左手で糸案内に糸を掛ける（2）。



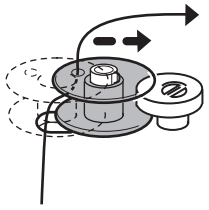
4　糸を図のようにボビンの穴に通す。下糸巻き軸の凸部にボビンのみぞに合わせて軸に入れる。

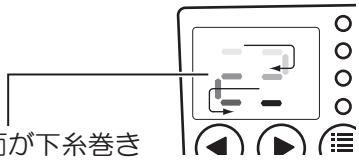


5　電源を入れる。



6 **カチッと音がするまで、下糸巻き軸を矢印の方向に押す。**

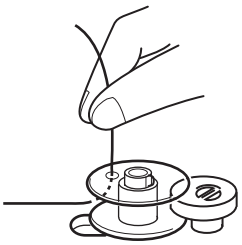


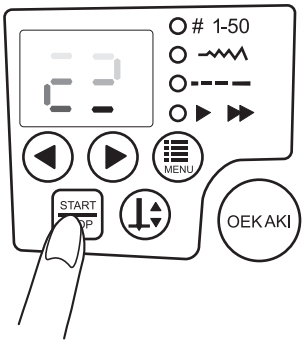


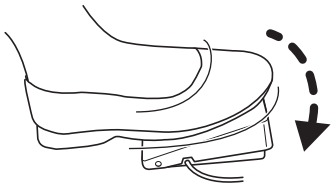
LED画面が下糸巻き表示になり、回転するように点滅します。

7 **右手で糸をしっかり持ち、左手で(START/STOP)(スタート／ストップ）ボタンを押す。または、フットコントローラーを踏んで巻き始める。**

10 回くらい糸を巻いたあと、もう一度(START/STOP)(スタート／ストップ）ボタンを押す。またはフットコントローラーから足を離して、ミシンを止める。

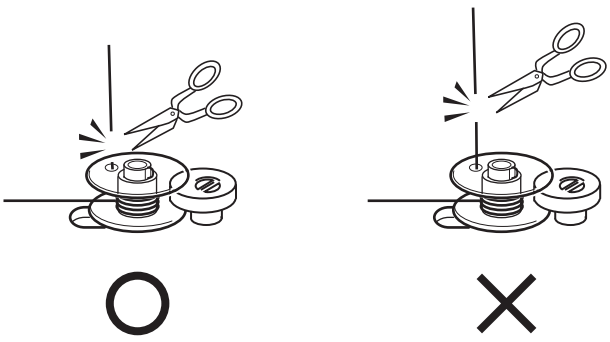






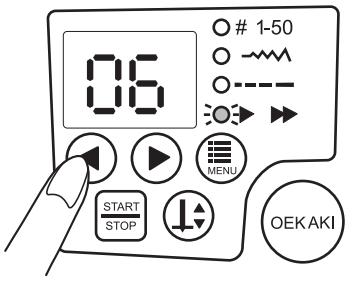
8 **ボビンの穴から出ている糸を切る。**

＊ 穴から出ている糸は、ボビンから出ないように切ってください。

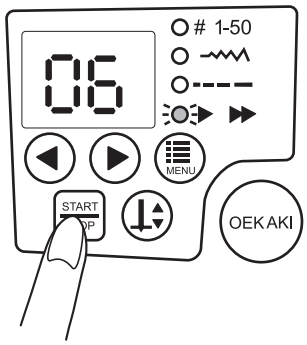


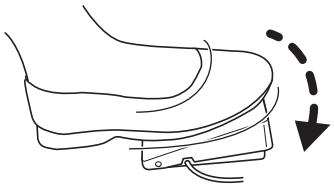
9 **糸巻き速度を変更したい場合は、(MENU)（設定切替）ボタンで▶ ▶▶のランプを点灯させ、◀ ▶（設定量変更）ボタンでお好みの速度に変更できます。（47 ページ参照）**

＊ LED 画面には、糸巻きをするときの速度が数秒間だけ表示されます。

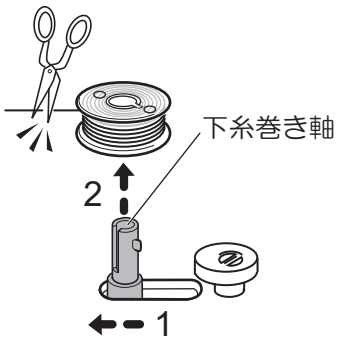


10 **(START/STOP)（スタート／ストップ）ボタンを押す。または、フットコントローラーを踏んで糸を巻く。**
ボビンの回転がゆっくりになったら、もう一度(START/STOP)（スタート／ストップ）ボタンを押す。または、フットコントローラーから足を離して糸巻きを止める。





11 **下糸巻き軸を矢印方向に戻し（1）、下糸巻き軸からボビンを抜いて糸を切る（2）。**



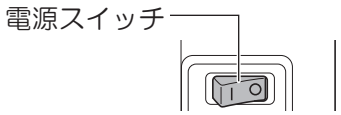
お願い

- 下糸巻き軸を戻さないと、針は動かず、ぬうことができません。

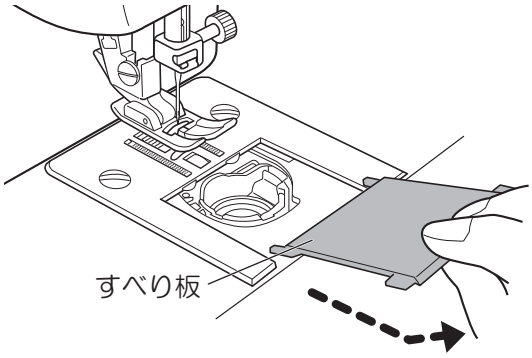
下糸をセットしましょう

すべり板を開け、ボビンをボビンケースに入れます。
ボビンが、ボビンケースに正しくセットされていないときれいなぬい目になりません。

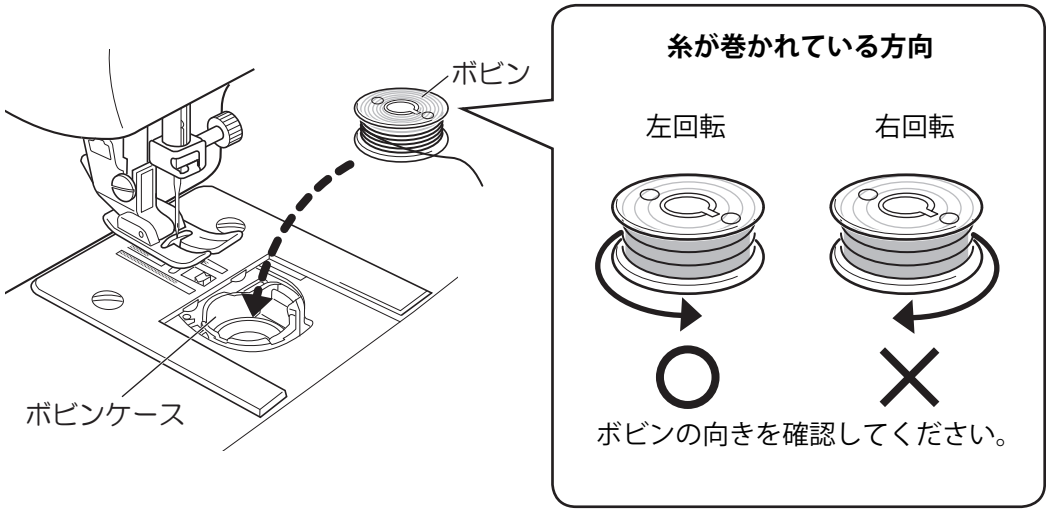
1　電源を切る。



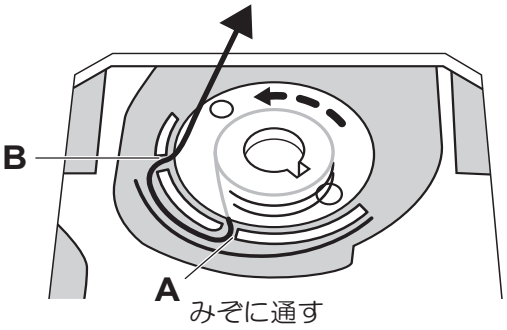
2　すべり板を手前に引き外す。



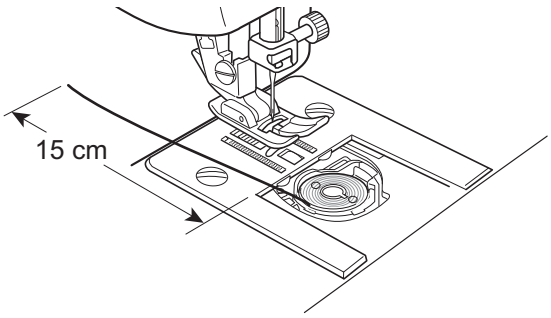
3　ボビンを左回転になるようにボビンケースに入れる。



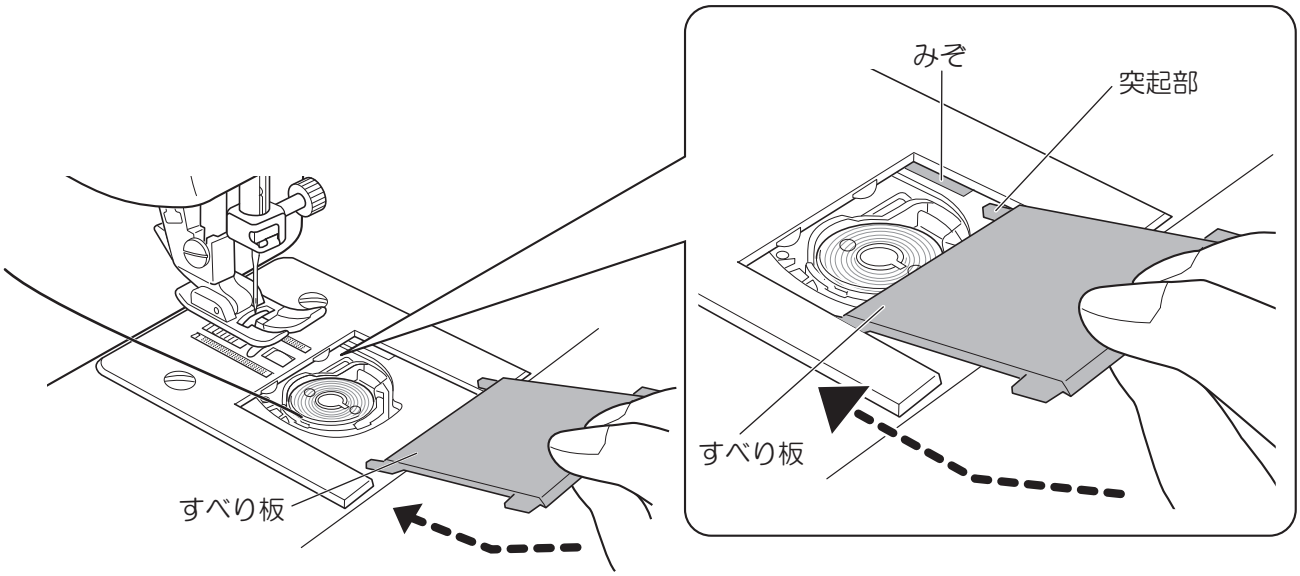
4　糸を図のように A から B に通し、後方へ引き出す。



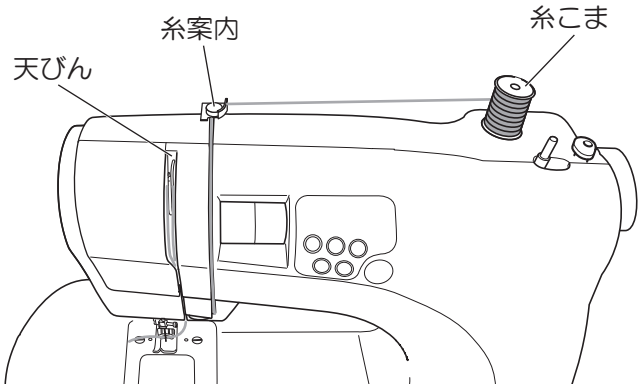
5　糸を 15cm ほど後ろへ引く。



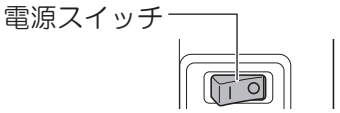
6　すべり板の突起部をみぞに入れてすべり板を押して閉める。



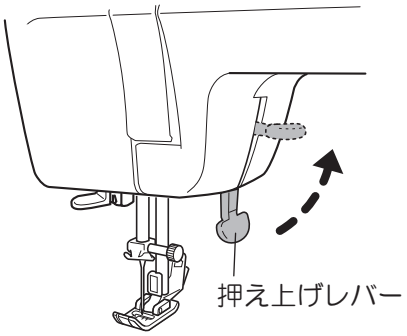
上糸をかけましょう



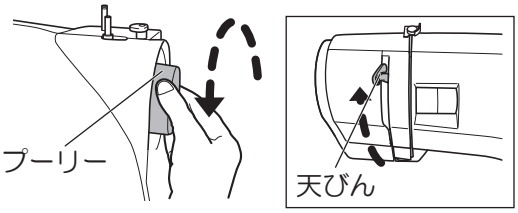
1　電源を切る

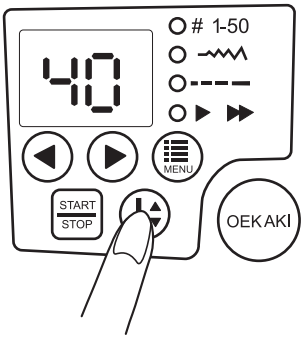


2　押え上げレバーを上げる。

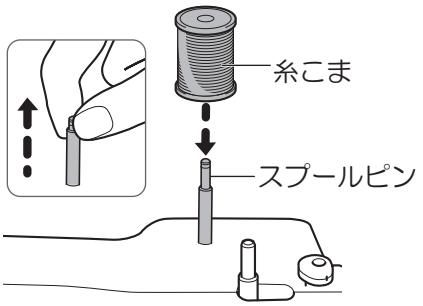


3　プーリーを手前に回し、天びんが最上部に上がるまで回す。
または、１の電源を切る前に（針上下停止）ボタンを押し、天びんを上げてから電源を切ります。
＊ 針や天びんが下がっていると上糸がかけられません。

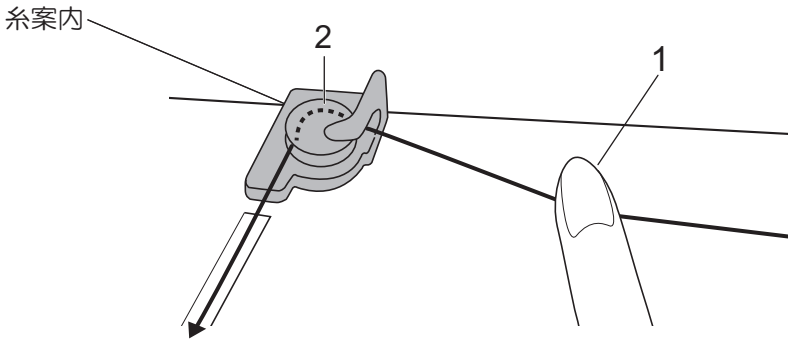




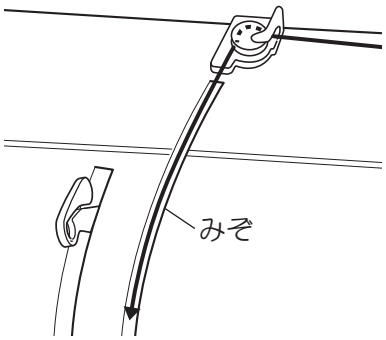
4　スプールピンを引き上げ、糸こまを入れる。



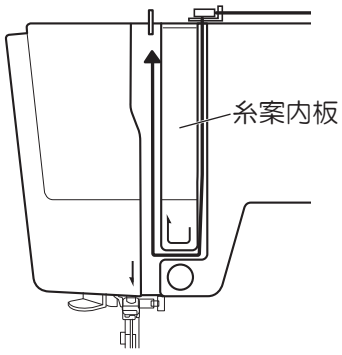
5　糸こまから糸を引き出し、右手で糸を押さえ（1）、左手で糸案内に糸を掛ける（2）。



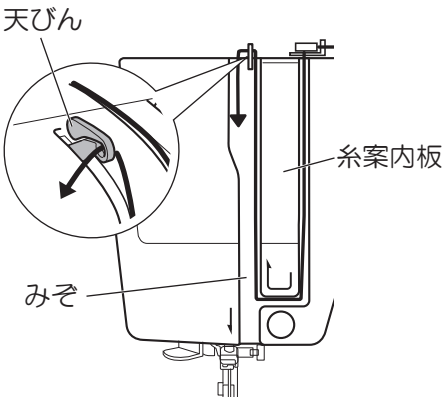
6　糸案内から糸をみぞにそって下に引っ張る。



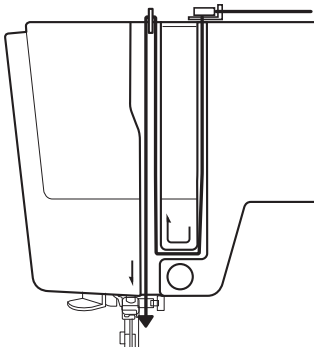
7　右から左に糸を回す。



8 **糸案内板のみぞにそって、糸を天びんの位置まで上げ、糸を天びんの右側から後ろに回す。**

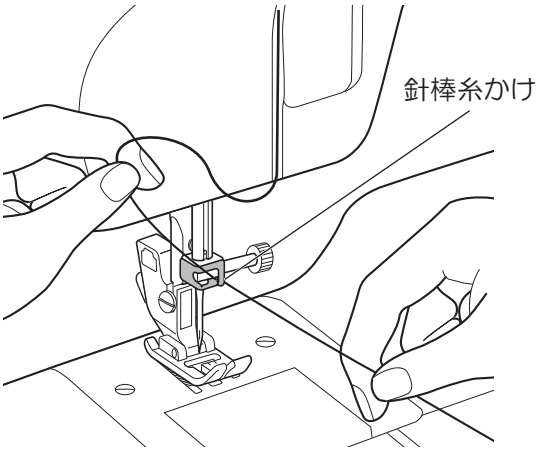


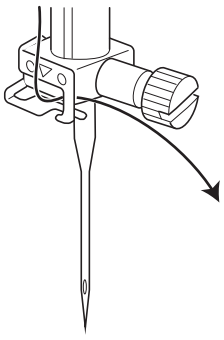
9 **みぞにそって、下方へ糸を引く。**



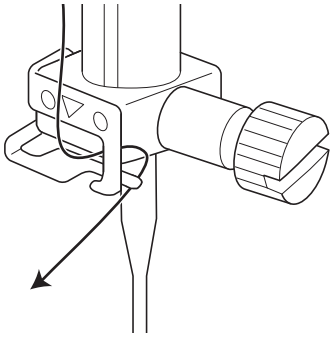
10 **糸を針棒糸かけの右後ろに回す。**

＊ 図のように左手で糸を持ち、右手で糸かけを行うと糸かけがしやすくなります。

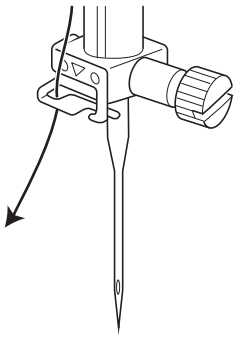




11 **針棒糸かけの右側に糸をかける。**

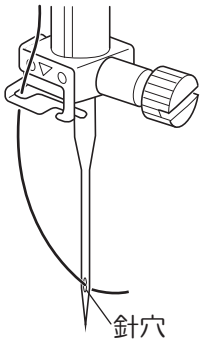


12 **糸を引っ張って図のように針棒糸かけに糸が入っているか確認する。**

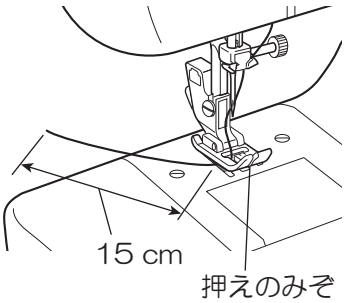


13 **針穴に正面から糸を通す。**

＊ 糸通しレバーを使うときは、38 ページを参照してください。



14 **糸の端を押えのみぞに通して、後ろ側に 15cm ほど引き出す。**



糸通しレバーを使ってみましょう

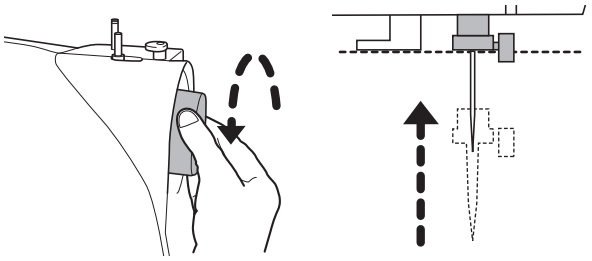
⚠ 注意

糸通しレバーを使用するときは、電源スイッチを「切」にする。
ケガの原因になります。

＊糸通しレバーが使える針は、‘11/75 番～ 18/110 番 ’ です。（ご購入時には ‘14/90 番 ’ が付いています）
針に対して糸が太いと、糸通しができません。針と糸の組合せは、「針・糸・布地の組み合わせと上糸調子の調整」（52 ページ）をご覧ください。

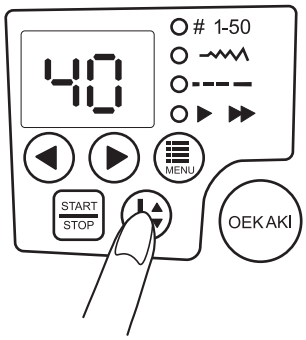
■糸通しレバーを使う前の準備

1　プーリーを手前に回し針が最上部に上がった状態にする。

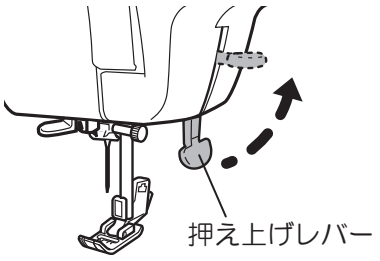


または、電源を切る前に（針上下停止）ボタンを押し、針が上がった状態にしてから、電源を切る。

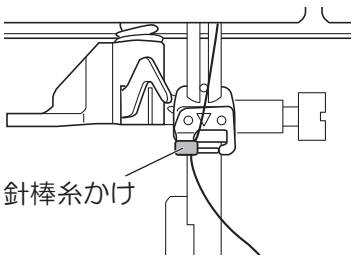
＊針が最上部に上がっていないと糸が針に通りません。



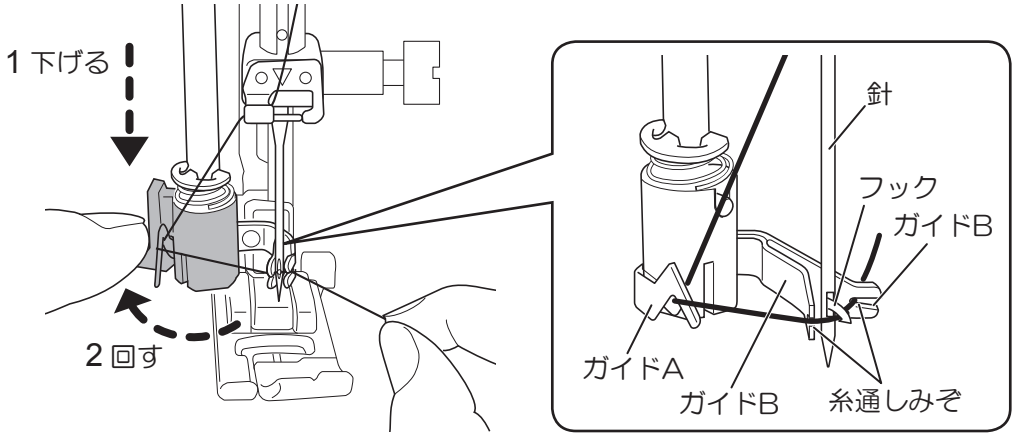
2　押え上げレバーを上げる。



3　針棒糸かけに糸がかかっていることを確認する。



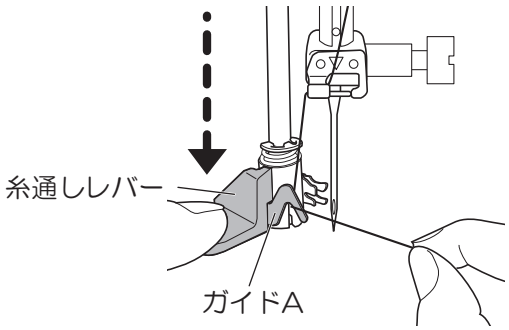
■糸通しレバーのしくみ



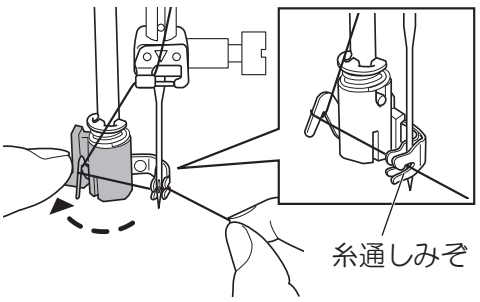
ガイド B の中にフックがあります。
フックが針穴を通り、糸をひっかけて針に通すしくみになっています。

■糸通しレバーの使い方

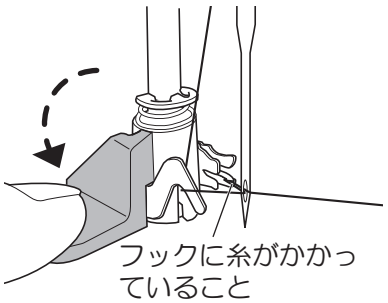
1　糸通しレバーが止まる位置まで下げ、図のように糸をガイド A にかける。



2　糸通しレバーを後ろに止まるまで回し、糸を張りながら糸通しみぞの奥まで入れる。

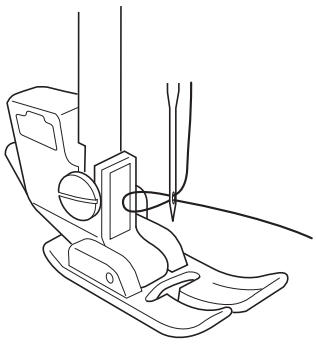


3　糸通しレバーが止まるまでゆっくり手前に戻す。

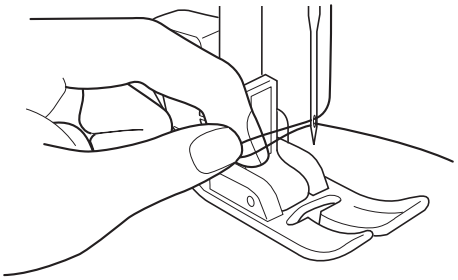


4 **糸が針穴に通っていることを確認し、糸通しレバーから指をはなすと同時に糸をはなす。**

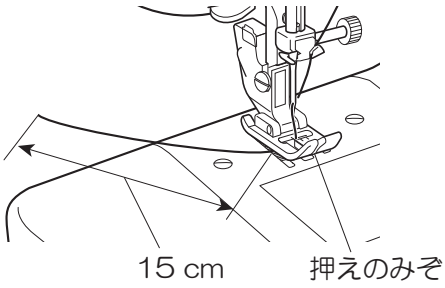
＊ 糸が針穴に通ってないときは、針が最上部に上がっているか確認し、手順 **1** からやり直してください。



5 **針穴の後ろにできた糸の輪を指でつまみ、後ろに引き出す。**



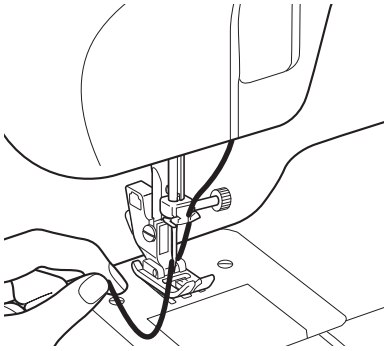
6 **糸を押えのみぞに通し、15cm ほど後ろに引き出す。**



メモ

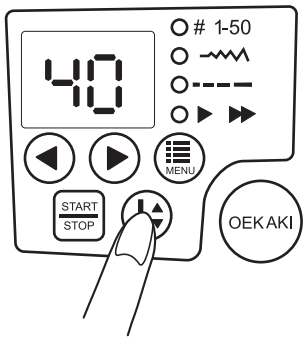
下糸を引き上げる

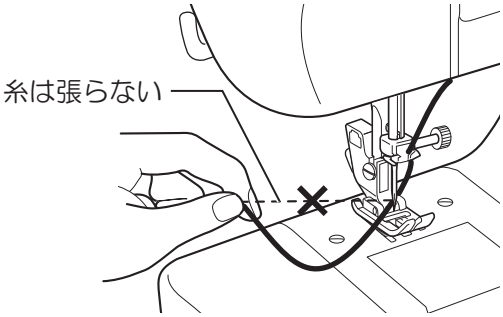
1　押え上げレバーを上げる。針に通した上糸をゆったりと左手で持ち、プーリーを手前に回し一回転させる。



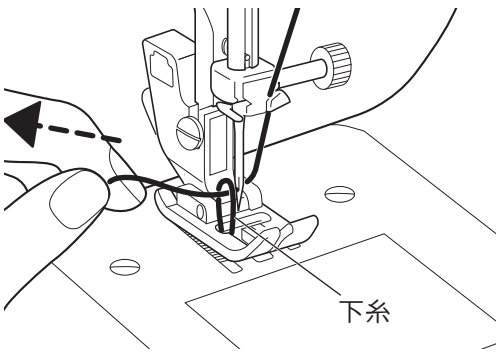
または、電源を入れ、押え上げレバーを上げる。
上糸をゆったりと手で持ち、(針上下停止）ボタンを右手で 2 回押す。

＊ 1 回目のボタン押しで針が下がります。
　2 回目のボタン押しで上糸が下糸をすくい、針が上がります。

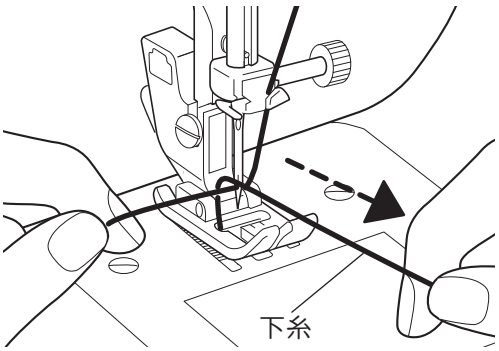




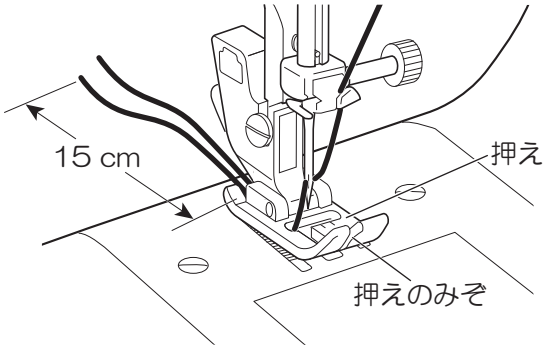
2　左手で上糸を軽く引っ張り上げると、下糸が引き上がります。



3 **下糸を手前に引き出す。**



4 **両糸をそろえて押えのみぞにいれ、押えの下を通して後ろに糸を 15cm ほど引き出す。**



6　実用ぬい

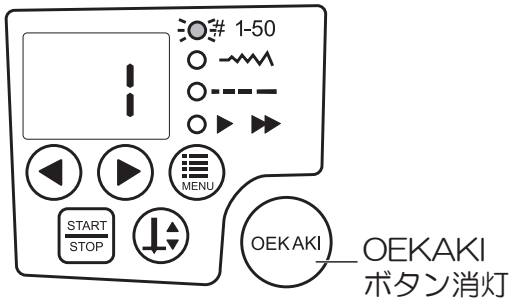
模様の種類の設定

実用ぬい模様の種類と押えは、48 ～ 51 ページを参照してください。

1　(設定切替）ボタンで # 1-50 のランプを点灯させる。

＊ LED 画面に模様番号が表示されます。

＊ お絵かきボタンのランプが消灯していることを確認してください。

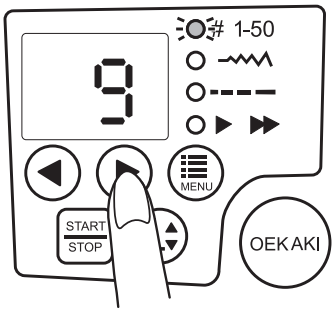


2　(設定量変更）ボタンで模様番号を設定する。

＊ ◀▶を長押しすると、高速で切り替わります。

[例] まつりぬいを設定する場合

9 の表示が出るまで◀▶を押します。

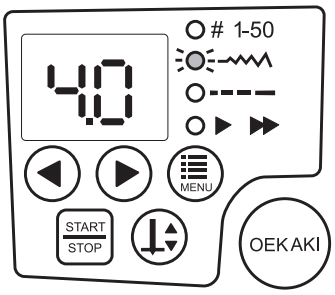


模様の幅の設定

模様の幅（ジグザグの振り幅）を広くしたり狭くしたりすることができます。

1 **(設定切替）ボタンで ～ のランプを点灯させる。**

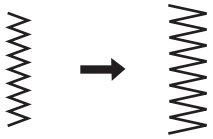
＊ LED 画面に模様の幅が表示されます。



2 **(設定量変更）ボタンで模様の幅を設定する。**

＊ 模様によって設定できる数値が異なります。詳しくは「ぬい模様の種類」（48 ～ 51 ページ）を参照してください。

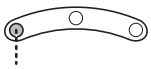
を押すごとに、模様の幅（ジグザグの振り幅）が広くなります。



を押すごとに、模様の幅（ジグザグの振り幅）が狭くなります。

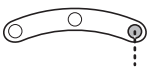
お願い

- 設定を変更できない模様もあります。（**48** ～ **51** ページを参照してください）
- 設定を変更したあとに、ミシンの電源を切ったり他の模様を選択したりすると、初期値に戻ります。
- 針落ちが変えられる直線ぬい（ぬい模様番号：**2**）を選択した場合は、模様の幅を変更すると針落ちの位置が移動します。



左針落ち位置
LED 画面表示「0.0」

中針落ち位置
LED 画面表示「2.5」



右針落ち位置
LED 画面表示「5.0」

⚠ 注意

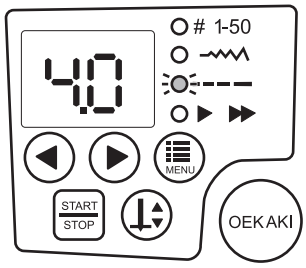
振り幅を調整したときは、プーリーをゆっくり回し、針が押えに当たらないことを確認する。
針が折れたり曲がったりするおそれがあります。
ケガの原因になります。

ぬい目の長さの設定

ぬい目の長さを粗くしたり細かくしたりすることができます。

1 **(設定切替）ボタンで ----- のランプを点灯させる。**

＊ LED 画面にぬい目の長さが表示されます。



2 **(設定量変更）ボタンでぬい目の長さを設定する。**

＊ 模様によって設定できる数値が異なります。詳しくは「ぬい模様の種類」（48 ～ 51 ページ）を参照してください。

▶を押すごとに、ぬい目の長さが粗くなります。

◀を押すごとに、ぬい目の長さが細かくなります。

お願い

- 設定を変更できない模様もあります。（**48** ～ **51** ページを参照してください）
- 設定を変更したあとに、ミシンの電源を切ったり他の模様を選択したりすると、初期値に戻ります。

⚠ 注意

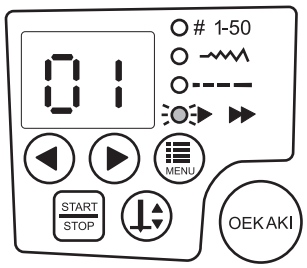
ぬい目が詰まる場合は、ぬい目の長さを長くする。
ぬい目が詰まった状態でぬい続けると、針が折れたり曲がったりして、ケガの原因になります。

ぬい速度の設定

ぬう速度を早くしたり遅くしたりすることができます。

1　(設定切替）ボタンで▶ ▶▶のランプを点灯させる。

＊ LED 画面にぬい速度が表示されます。



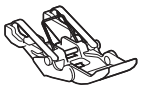
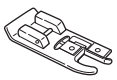
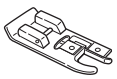
2　(設定量変更）ボタンでぬい速度を設定する。

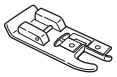
＊ ぬい速度は 01（遅い）～ 10（速い）の範囲で設定できます。

注記

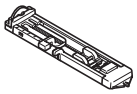
・ 実用ぬいでは、フットコントローラーを接続している場合は、設定値がフットコントローラーを踏み込んだときの速度になります。

ぬい模様の種類

番号 ぬい模様	主な用途	ぬい目の長さ （初期値）	振り幅 （初期値）	押え
1	直線ぬい（中央）	1.0 ～ 4.0 (2.0)	— (2.5) * 針落ち位置	ジグザグ押え ファスナー押え 段ぬい押え 
2	針落ちが変えられる直線ぬい	1.0 ～ 4.0 (2.0)	0 ～ 5.0 (0) * 針落ち位置	ジグザグ押え
3	直線強化ぬい	1.0 ～ 3.0 (3.0)	— (2.5) * 針落ち位置	
4	ジグザグぬい、アップリケ	0 ～ 4.0 (3.0)	1.0 ～ 5.0 (4.0)	
5	つくろいぬい、薄地の裁ち目かがりぬい	0.5 ～ 4.0 (1.0)	3.0 ～ 5.0 (5.0)	
6	ジグザグ強化ぬい	1.0 ～ 3.0 (3.0)	2.0 ～ 5.0 (5.0)	
7	飾りぬい	1.0 ～ 3.0 (3.0)	3.0 ～ 5.0 (5.0)	
8	厚地の裁ち目かがりぬい	1.0 ～ 3.0 (3.0)	3.0 ～ 5.0 (5.0)	ジグザグ押え 裁ち目かがり押え 
9	まつりぬい	1.0 ～ 4.0 (2.0)	2.0 ～ 5.0 (4.0)	ジグザグ押え まつりぬい押え
10	裁ち目かがりぬい	1.0 ～ 4.0 (2.0)	2.0 ～ 5.0 (5.0)	ジグザグ押え 裁ち目かがり押え 
11	伸縮ぬい	2.5 ～ 4.0 (3.5)	1.5 ～ 5.0 (2.0)	ジグザグ押え
12	飾りぬい	1.0 ～ 3.0 (3.0)	3.0 ～ 5.0 (5.0)	

番号 ぬい模様	主な用途	ぬい目の長さ （初期値）	振り幅 （初期値）	押え
13	裁ち目かがりぬい	1.0 ～ 3.0 (3.0)	3.0 ～ 5.0 (5.0)	ジグザグ押え　裁ち目かがり押え 
14	アップリケ	2.0 ～ 3.0 (3.0)	2.0 ～ 5.0 (5.0)	ジグザグ押え
15	シェルタック飾りぬい	2.0 ～ 3.0 (3.0)	2.0 ～ 5.0 (5.0)	
16	まつりぬい	0.5 ～ 4.0 (1.0)	3.0 ～ 5.0 (4.0)	ジグザグ押え　まつりぬい押え
17	飾りぬい	0.5 ～ 4.0 (1.0)	3.0 ～ 5.0 (4.0)	ジグザグ押え
18	飾りぬい	2.0 ～ 4.0 (2.0)	2.0 ～ 5.0 (5.0)	
19	飾りぬい	2.0 ～ 4.0 (2.0)	2.0 ～ 5.0 (5.0)	
20	飾りぬい	2.0 ～ 4.0 (2.0)	2.0 ～ 5.0 (5.0)	
21	飾りぬい	2.0 ～ 4.0 (2.0)	2.0 ～ 5.0 (3.5)	
22	飾りぬい	2.0 ～ 4.0 (2.0)	2.0 ～ 5.0 (3.5)	
23	飾りぬい	0.5 ～ 3.0 (0.5)	2.0 ～ 5.0 (5.0)	
24	飾りぬい	1.0 ～ 3.0 (3.0)	3.0 ～ 5.0 (5.0)	
25	飾りぬい	1.5 ～ 3.0 (3.0)	3.0 ～ 5.0 (5.0)	

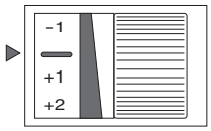
番号 ぬい模様	主な用途	ぬい目の長さ （初期値）	振り幅 （初期値）	押え
26	飾りぬい	1.5 ～ 3.0 (3.0)	3.0 ～ 5.0 (5.0)	ジグザグ押え
27	飾りぬい	1.0 ～ 3.0 (2.0)	3.0 ～ 5.0 (5.0)	
28	飾りぬい、ふちかがりぬい	0.5 ～ 1.0 (0.5)	3.0 ～ 5.0 (5.0)	
29	飾りぬい	0.5 ～ 1.0 (0.5)	3.0 ～ 5.0 (5.0)	
30	飾りぬい	1.5 ～ 3.0 (2.0)	2.0 ～ 5.0 (5.0)	
31	飾りぬい	0.5 ～ 1.0 (0.5)	3.0 ～ 5.0 (5.0)	
32	飾りぬい	0.5 ～ 1.0 (0.5)	3.0 ～ 5.0 (5.0)	
33	飾りぬい	1.5 ～ 3.0 (2.0)	3.0 ～ 5.0 (5.0)	
34	飾りぬい	1.0 ～ 3.0 (1.0)	3.0 ～ 5.0 (5.0)	
35	飾りぬい	1.5 ～ 3.0 (2.5)	3.0 ～ 5.0 (5.0)	
36	飾りぬい	1.5 ～ 3.0 (2.5)	3.0 ～ 5.0 (5.0)	
37	飾りぬい	1.5 ～ 3.0 (2.5)	3.0 ～ 5.0 (5.0)	
38	飾りぬい	1.5 ～ 3.0 (2.5)	— (2.5) * 針落ち位置	
39	飾りぬい	0.5 ～ 1.0 (0.5)	3.0 ～ 5.0 (5.0)	

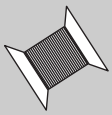
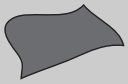
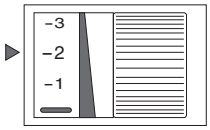
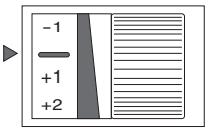
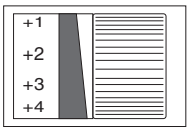
番号 ぬい模様	主な用途	ぬい目の長さ （初期値）	振り幅 （初期値）	押え
40	飾りぬい	1.5 ～ 3.0 (2.0)	3.0 ～ 5.0 (4.0)	ジグザグ押え
41	飾りぬい	0.5 ～ 1.0 (0.5)	3.0 ～ 5.0 (5.0)	
42	飾りぬい	0.5 ～ 1.0 (0.5)	3.0 ～ 5.0 (5.0)	
43	飾りぬい	1.0 ～ 3.0 (2.0)	3.0 ～ 5.0 (4.0)	
44	飾りぬい	0 ～ 4 (1.0)	— (5.0)	
45	飾りぬい	0 ～ 4 (1.0)	— (5.0)	
46	飾りぬい	0 ～ 4 (1.0)	— (5.0)	
47	飾りぬい	1.5 ～ 3.0 (2.0)	3.0 ～ 5.0 (4.0)	
48	ボタンホール（通常）	0.5 ～ 1.1 (0.5)	3.0 ～ 5.0 (4.0)	ボタンホール押え 
49	ボタンホール（ネムリ）	0.5 ～ 1.1 (0.5)	3.0 ～ 5.0 (4.0)	
50	ボタンホール（ハトメ）	0.5 ～ 1.1 (0.5)	4.0 ～ 5.0 (5.0)	

針・糸・布地の組み合わせと上糸調子の調整

ぬいの仕上がりは針、糸、布の使い分けにより良くなります。
次の表に従って、目的に合った糸と針を選んでください。

通常は上糸調子ダイヤルを ”—” にセットしてください。



		薄地	普通地	厚地
針・糸・布地の関係	針	75/11 番	90/14 番	110/18 番
	 糸	ポリエステル　90 番 綿　80 番～ 120 番 絹　80 番	ポリエステル　50 番～ 60 番 綿　60 番～ 80 番 絹　50 番～ 80 番	＊ 1 ポリエステル　20 番～ 50 番 綿　40 番～ 50 番 絹　50 番
	 布地	一般裏地 キュプラ ジョーゼット ローン レース等	一般服地 ブロード ソフトデニム サテン パイル地 ギンガム等	カーテン地 デニム キルティング フリース ツイード フェルト
糸調子の目安	上糸調子ダイヤル	 -1 ~ -3	 —	 +1 ~ +5

- 伸縮性のある布地には、市販のボールポイント針を使用するとよりきれいにぬえます。
- 付属品にない針は、家庭用ミシン針とご指定のうえ、お買い求めください。
- 上糸と下糸は同じ種類の糸を使います。
- 針の番手が大きくなると針が太くなります。糸の番手が大きくなると糸が細くなります。
- 針・糸・布の組み合わせによって、上糸調子の調整が必要になります。（84 ページを参照してください）

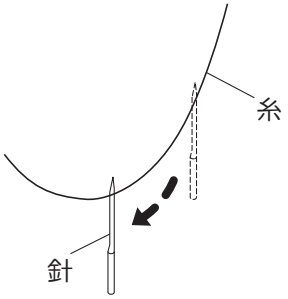
注記

＊ 1　フジックス製ジーンズステッチ # 20（ポリエステル 100%　家庭用糸）の糸の太さを超えないものを選定してください。糸が太すぎると故障の原因となります。糸と針の組み合わせは、53 ページのワンポイントを参照してください。

ワンポイント

＜糸に対する針の選び方＞

使いたい糸を針穴に通して糸の両端を持ち、図のように糸をゆるませながら針を滑らせます。
引っかかりがなければ、良い組み合わせです。
糸の太さに対して太すぎる針はぬい目不良になるため、出来るだけ針番手が小さく、糸に対して引っかからない針を選択してください。
針が途中で頻繁に引っかかったり、滑り落ちなかったりする場合も、ぬい目不良になります。針番手や糸の種類を替えてください。



7 ぬってみましょう（実用ぬい）

基本編

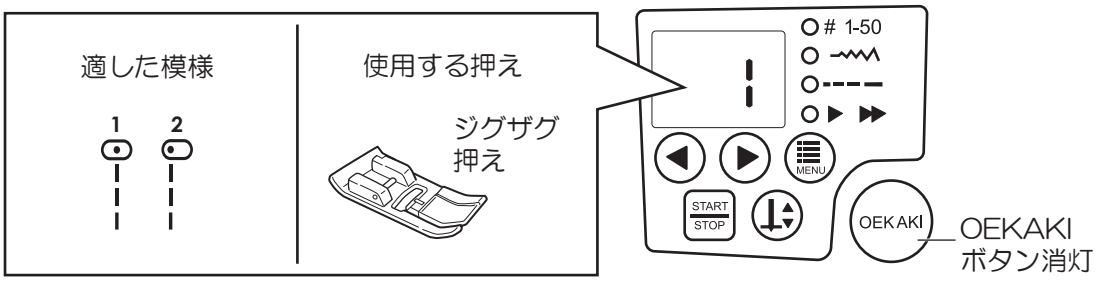
⚠ 注意
押えを取り替えるときは、電源スイッチを「切」にする。 ケガの原因になります。
ぬっているとき布を無理に引っ張ったり押したりしない。 針が折れ、ケガの原因になります。

■直線ぬい

1 操作パネルで、模様を設定する。

＊ お絵かきボタンのランプが消灯していることを確認してください。

＊「模様の種類の設定」（44 ページ）を参照してください。



2 ぬい目の長さを設定する。

＊「ぬい目の長さの設定」（46 ページ）を参照してください。

3 （針上下停止）ボタンを押して針を上げる。

4 布をセットし、押え上げレバーを下げる。

5 布に軽く手を添え、（スタート / ストップ）ボタンを押す。
または、フットコントローラーを踏んでぬいはじめる。

＊ ぬい速度を変更する場合は、「ぬい速度の設定」（47 ページ）を参照してください。

注記

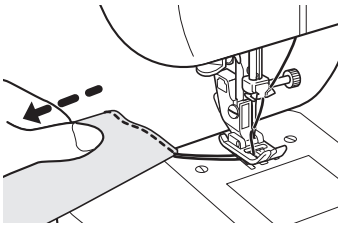
・ フットコントローラーを本体に接続しているときは、スタート／ストップボタンを押してもミシンはスタートしません。ぬい終わりは、スタート／ストップボタンでも止められます。

■ぬい終わり

START/STOP（スタート / ストップ）ボタンを押す、またはフットコントローラーから足をはなしてミシンを止めます。

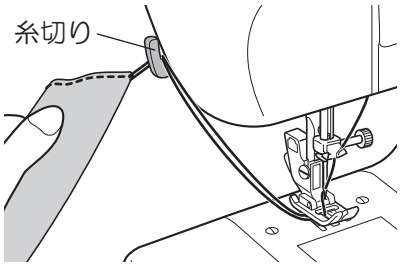
ぬい終わったら、押えを上げて布を後方へ引き出してください。

＊布が抜けないときは、プーリーを手前に回して針を最上部に上げたところで、布を引き出してください。



■糸切り

2 本の糸をそろえて面板の糸切りで糸を切ります。



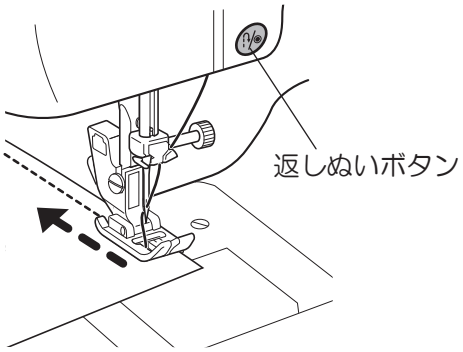
■返しぬい

返しぬいは、ぬい始めやぬい終わりのほつれを防ぐために行います。

返しぬいボタンを押している間は、返しぬいを行います。

＊ぬい始めやぬい終りのほつれ止めは、3 ～ 4 針返しぬいをします。

＊返しぬいボタンから指をはなすと、ミシンが止まります。



注記

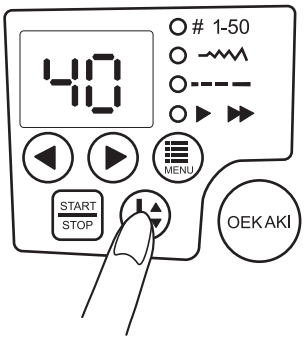
・ 直線以外の模様のときは、3 針の止めぬいをして止まります。

■半針ぬい

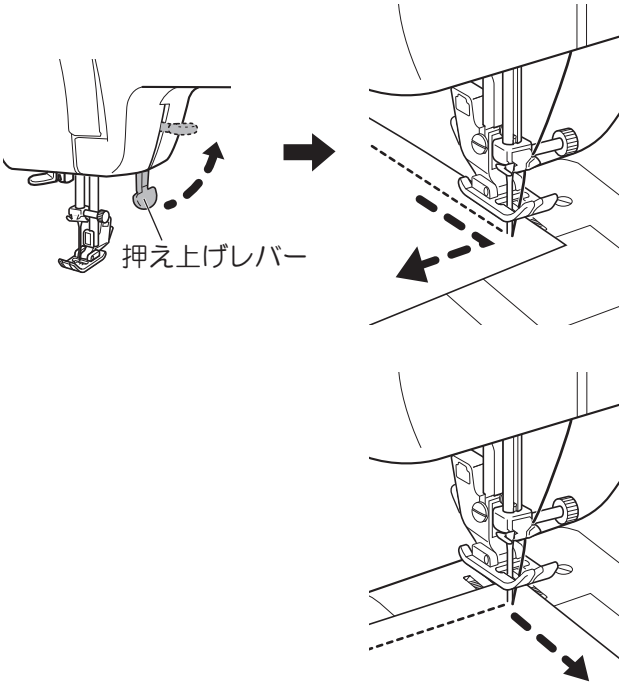
ぬい方向を変えるときに使います。

1　針が上で停止しているところで（針上下停止）ボタンを押す。

針が布に落ちた状態で停止します。



2　押え上げレバーを上げ、針を中心に布をぬいたい方向に回す。



3　押え上げレバーを下げ、再びぬいはじめる。

＊もう一度針上下停止ボタンを押すと、再び針は上で停止します。

＊半針ぬいをくり返すことで、少しずつぬうことができます。

＊フットコントローラーを接続しているときは、短時間でフットコントローラーの踏みはなし操作をすることで、半針ぬいになります。

応用編

⚠ 注意

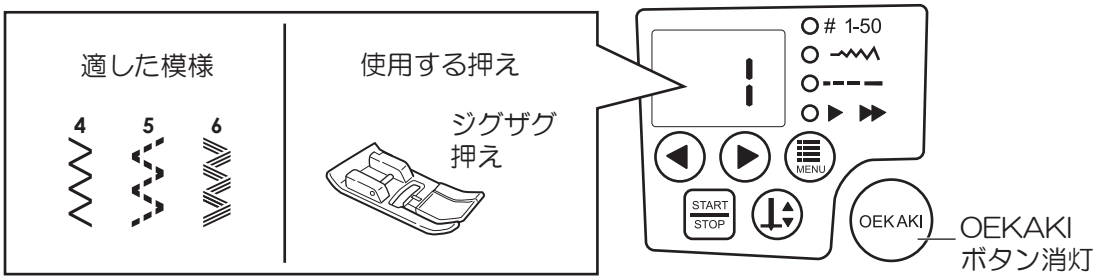
押えを交換するときは電源スイッチを「切」にする。
ケガの原因になります。

■ジグザグぬい

1　操作パネルで、模様を設定する。

＊お絵かきボタンのランプが消灯していることを確認してください。

＊「模様の種類の設定」（44 ページ）を参照してください。



2　模様の幅とぬい目の長さを設定する。

＊「模様の幅の設定」（45 ページ）、「ぬい目の長さの設定」（46 ページ）を参照してください。

3　（針上下停止）ボタンを押して針を上げる。

4　布をセットし、押え上げレバーを下げる。

5　布に軽く手を添え、START/STOP（スタート / ストップ）ボタンを押す。
または、フットコントローラーを踏んでぬいはじめる。

＊ぬい速度を変更する場合は、「ぬい速度の設定」（47 ページ）を参照してください。

注記

・ フットコントローラーを本体に接続しているときは、スタート／ストップボタンを押してもミシンはスタートしません。ぬい終わりは、スタート／ストップボタンでも止められます。

■裁ち目かがりぬい

布端のほつれを防ぐぬい方です。

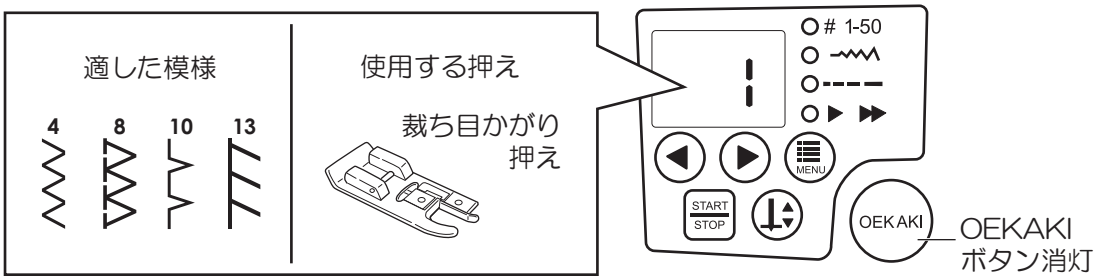
❑裁ち目かがり押えを使用する場合

⚠ 注意

裁ち目かがり押えを使う場合は、必ず模様番号 4、8、10、13 の模様を使用し、模様の幅を 5.0 に設定する。
針が押えに当たり、針が折れ、ケガの原因になります。

1　操作パネルで、模様を設定する。

＊ お絵かきボタンのランプが消灯していることを確認してください。
＊「模様の種類の設定」（44 ページ）を参照してください



2　模様の幅とぬい目の長さを設定する。

＊「模様の幅の設定」（45 ページ）、「ぬい目の長さの設定」（46 ページ）を参照してください。

⚠ 注意

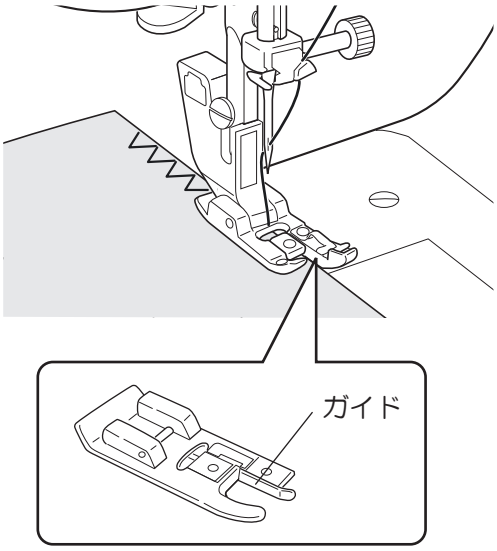
模様の幅を調整したときは、プーリーをゆっくり回し、針が押えに当たらないことを確認する。
針が折れて、ケガの原因になります。

3　（針上下停止）ボタンを押して針を上げる。

4　布をセットし、押え上げレバーを下げる。

5　押えのガイドに布端を当てながらぬう。

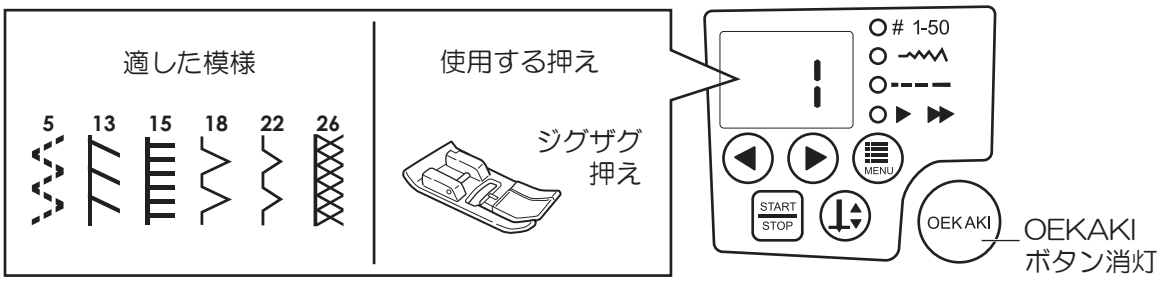
＊ ガイドに合わせてぬうことで、針落ちを気にせず、ぬうことができます。



❑ ジグザグ押えを使用する場合

1 操作パネルで、模様を設定する。

＊ お絵かきボタンのランプが消灯していることを確認してください。
＊ 薄物をぬうときは、No.5 の模様を選びます。
＊ 伸びる布地をぬうときは、No.13, 15, 18, 22, 26 を選びます。
＊「模様の種類の設定」（44 ページ）を参照してください。



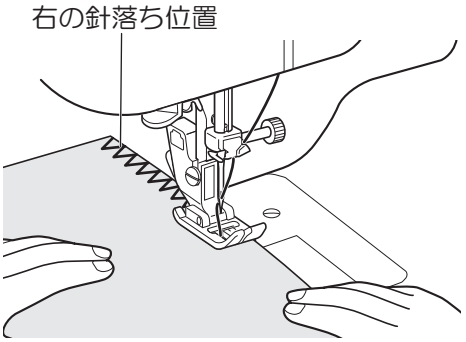
2 模様の幅とぬい目の長さを設定する。

＊「模様の幅の設定」（45 ページ）、「ぬい目の長さの設定」（46 ページ）を参照してください。

3 （針上下停止）ボタンを押して針を上げる。

4 布をセットし、押え上げレバーを下げる。

5 右の針落ち位置が、布端より少し外側になるように布の位置を合わせてぬう。



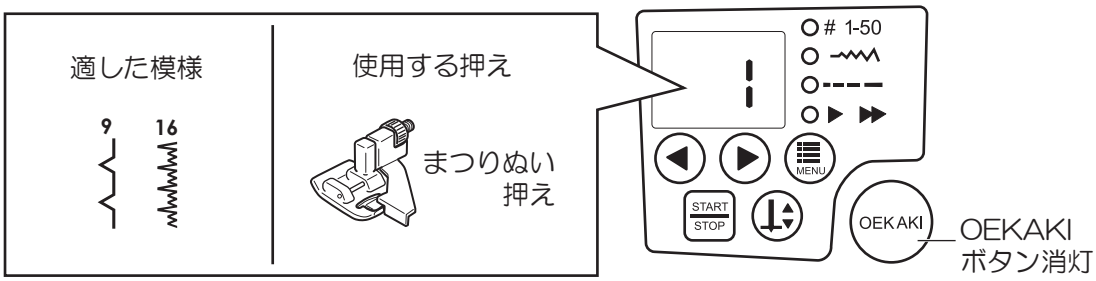
■ まつりぬい

スカートやズボンのすそをまつるときに使います。布地の表側にぬい目が目立たないぬい方です。

1 操作パネルで、模様を設定する。

＊ お絵かきボタンのランプが消灯していることを確認してください。

＊「模様の種類の設定」（44 ページ）を参照してください。



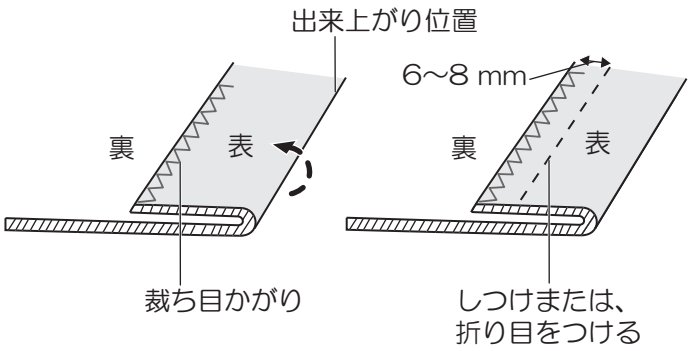
2 模様の幅とぬい目の長さを設定する。

＊「模様の幅の設定」（45 ページ）、「ぬい目の長さの設定」（46 ページ）を参照してください。

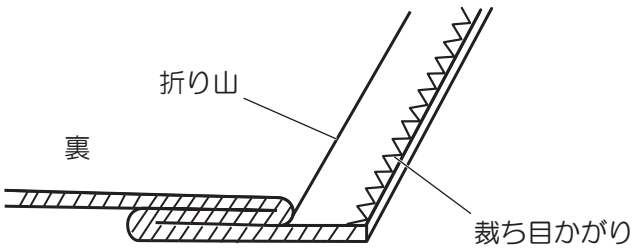
3 布端に裁ち目かがりをして図のように折る。

＊ 布端から 「6 ～ 8mm」のところで、しつけまたはアイロンで折り目をつけます。

＊ しつけぬいは、手ぬいまたは「しつけぬいのし方」（80 ページ）を参照してください。

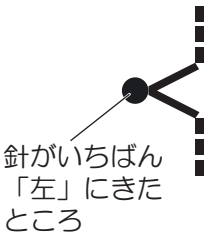


4 しつけまたはアイロンで折り目をつけたところから折り返し、布地の裏を上側にする。



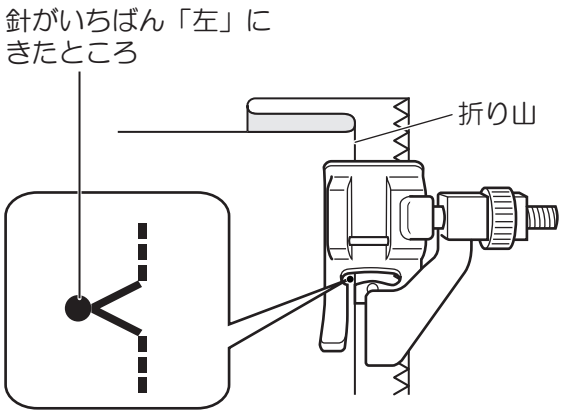
5 （針上下停止）ボタンを押して針を上げる。

6　プーリーを手前に回し、針が一番『左』にきたところでミシンを止める。

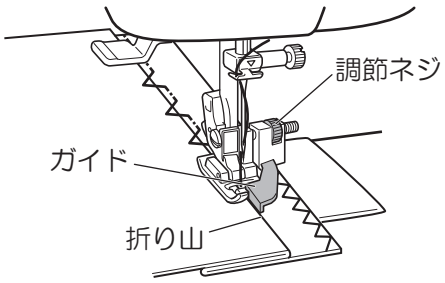


7　針が折り山に少しかかるように布地を合わせる。

＊ 下図「正しいぬい目」のように、布の折り山から、織り糸2～3本分くらいのところに合わせてください。



8　押え上げレバーを下げ、折り山にガイドが当たるように調節ネジで調節し、ガイドに折り山を当てながらぬう。



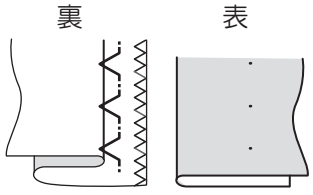
ワンポイント

まつりぬいをするときは、目立ちにくい糸を使用してください。

明るい色の布をぬうときは布の色に合わせた糸を使用
暗い色の布をぬうときは濃い色の糸を使用

❑正しいぬい目

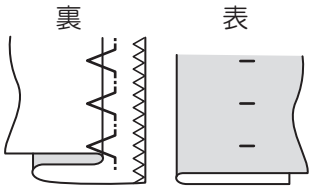
表側に小さく均等にぬい目が出ている。



（広げた状態）

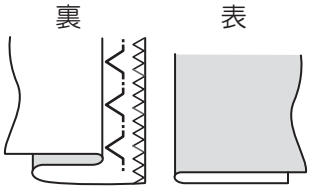
❑このようなときは

針が折り山にかかりすぎている。



（表側に出るぬい目が大きくなる場合）

針が折り山にかかっていない。



（まつりぬいができていない場合）

＊ 手順6～8をよく読んで、手順に従ってください。

■ジーンズの裾上げ

段ぬい押えを使うとジーンズの裾などの布の重なり部分がぬいやすくなります。

⚠ 注意

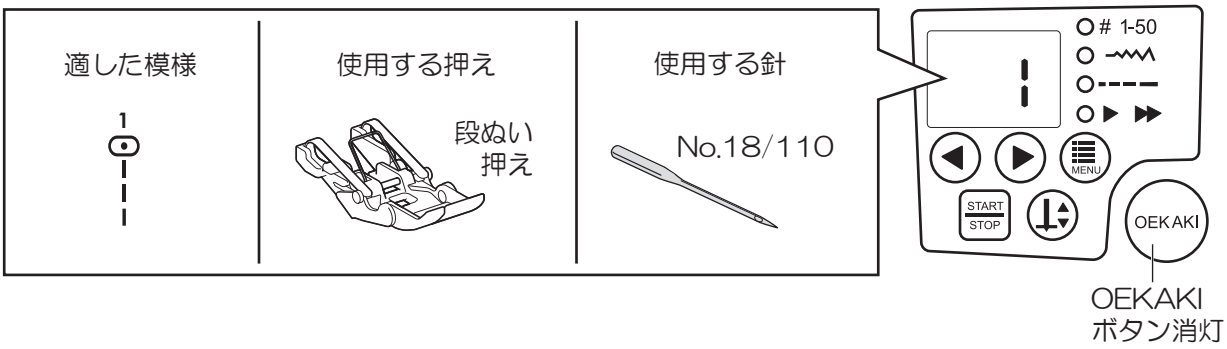
8mm 以上の厚物をぬったり、無理に布地を押しこんだりしない。
針が折れて、ケガの原因になります。

⚠ 注意

模様は No.1 直線ぬい（中央）のみを使用する。
振り幅のある模様をぬうと、押えに針が当たり、針が折れ、ケガの原因になります。

1 操作パネルで No.1 直線ぬい（中央）の模様を設定する。

＊ お絵かきボタンのランプが消灯していることを確認してください。
＊「模様の種類の設定」（44 ページ）を参照してください。



2 ぬい目の長さを「3.0 ～ 4.0」（推奨）に設定する。

＊「ぬい目の長さの設定」（46 ページ）を参照してください。

ワンポイント

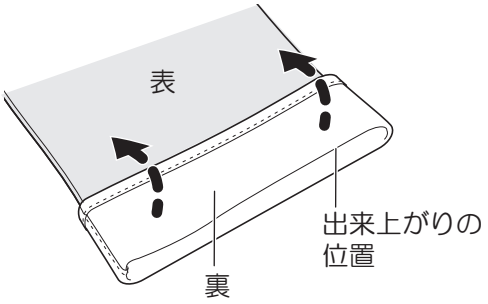
本製品の実用ぬいモードでぬえるデニム地の厚さの目安
ソフトデニム (12onz) × 12 枚まで
ソフトデニム (14onz) × 9 枚まで
ハードデニム (12onz) × 9 枚まで

お願い

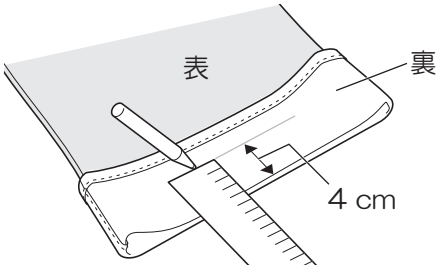
- 押えの下に布を置かずにぬわないでください。
  押えを傷める原因になります。

3 （針上下停止）ボタンを押して針を上げる。

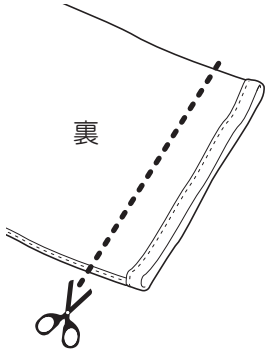
4　ジーンズを着用して出来上がりの位置で折り、ピンで止める。



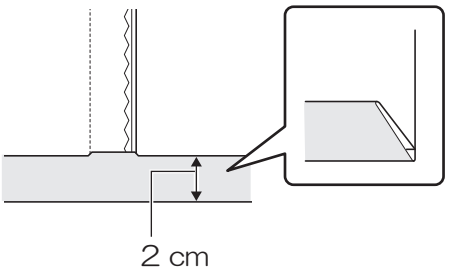
5　出来上がり位置から4cmのところにチャコペンで線を引く。



6　ジーンズを裏返し、チャコペンの線に沿って切る。

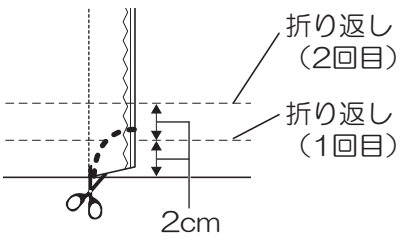


7　裾の部分を 2cm 折り曲げて、アイロンをかける。
もう一度 2cm 折り曲げて、アイロンをかける。

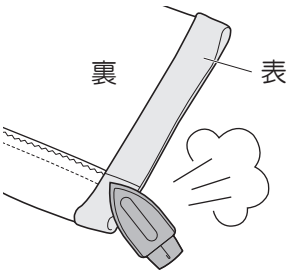


ワンポイント

ジーンズの生地が厚い場合は、生地が重なっているところを、折り返し１回分くらいを切り取ると、ぬいやすくなります。



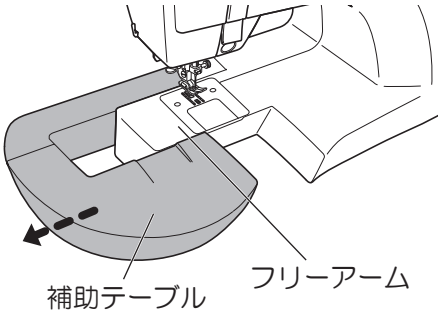
8　生地が重なっているところに、スチームアイロンをかける。

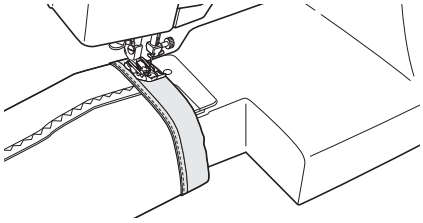


ワンポイント

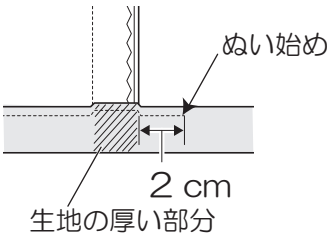
生地が重なっているところが厚い場合は、木槌などで平らにすると、ぬいやすくなります。

9　補助テーブルを外してフリーアームにし、ジーンズの裾を図に示すようにフリーアームに差し込む。





10　ジーンズの生地の厚い部分（図参照）の少し前からぬい始め、ジーンズの裾をぐるりと一周ぬう。
ぬい始めとぬい終わりは、返しぬいをする。



⚠ 注意

生地が厚くなっているところで返しぬいをしない。
針が折れて、ケガの原因になります。

■ボタンホールぬい

ボタンの大きさに合ったボタンホールをぬうことができます。伸縮地、薄地の場合は接着芯を布の裏に貼ることで、きれいなボタンホールに仕上がります。

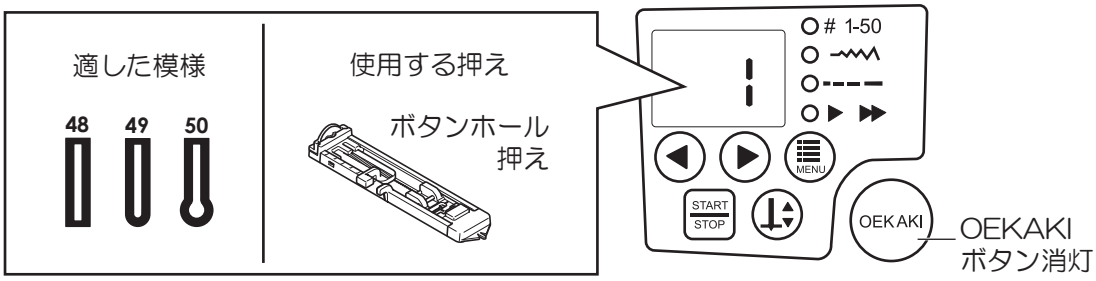
1 操作パネルで、模様を設定する。

＊ お絵かきボタンのランプが消灯していることを確認してください。

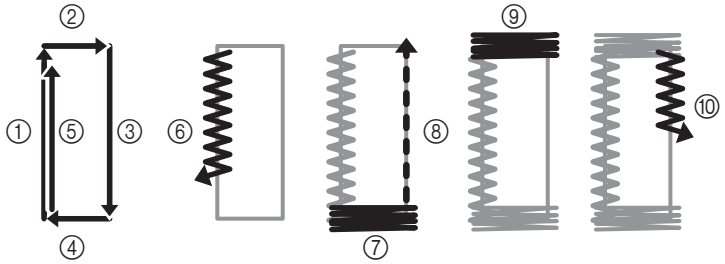
＊「模様の種類の設定」（44 ページ）を参照してください。

＊ ボタンホールぬいをするときは、ぬい目の長さや振り幅を確認するため、必ず試しぬいをしましょう。

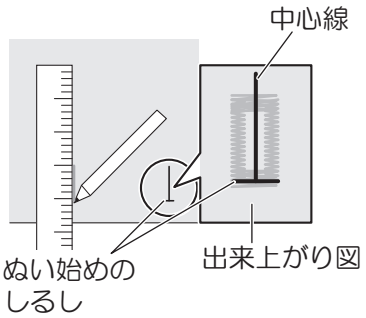
＊ ボタンの直径が 25.4mm 以下のボタンホールが作れます。



ボタンホールは、自動で図の番号順にぬいます。

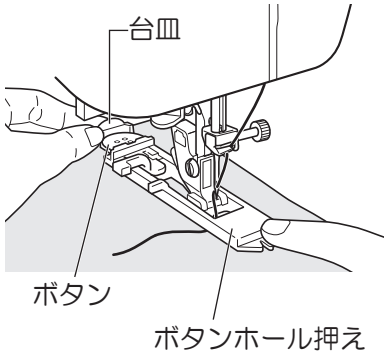


2 ボタンホールのぬいはじめの位置にしるしをつけます。

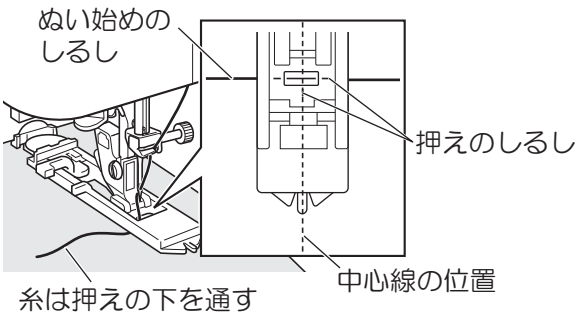


3 押えの台皿を引き出し、ボタンをのせてはさむ。

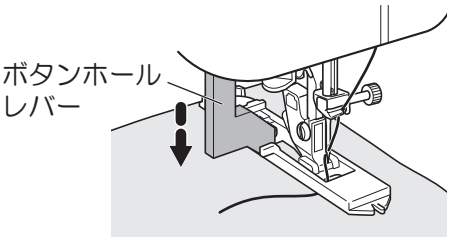
＊ 台皿に入れるボタンのサイズによって、ボタンホールぬいの大きさが決まります。

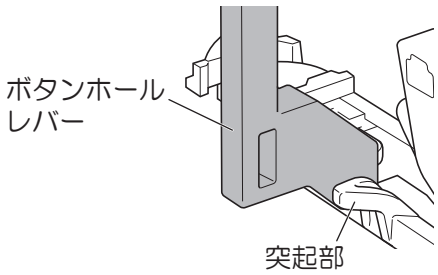


4　布地につけた印を押えの印に合わせ、押え上げレバーを下げる。



5　図のように、ボタンホール押えの突起部の後ろ側にボタンホールレバーを下げる。

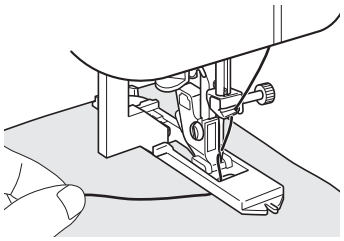




6　上糸の端を軽く持ち、ぬい始める。

＊ スタート／ストップボタンを押す、またはフットコントローラーを踏み込んで、ボタンホールぬいを行ってください。

＊ ぬい終わると、自動的に止めぬいをして止まります。

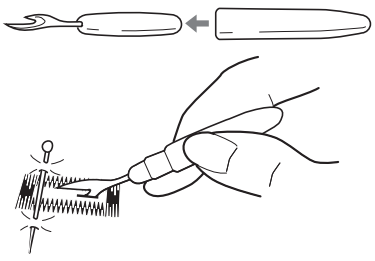


⚠ 注意

付属のリッパーでボタンホールの切り込みをするときはリッパーの向こうに指や手を置かない。
手にケガをする原因になります。

7　付属のリッパーでぬい目を切らないように中央を切り開く。

＊ まち針をかんぬき止め部に刺しておくと、リッパーでの切り込みすぎを防ぐことができます。



■ファスナー付け

ファスナーの左側を先にぬう場合の手順です。

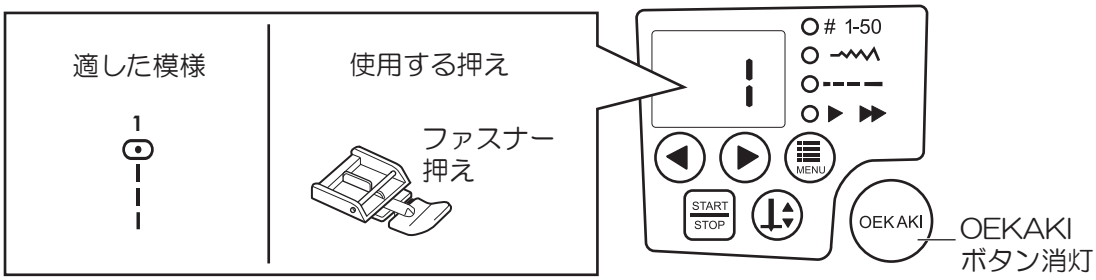
⚠ 注意

ぬうときは、ファスナーに針が当たらないようにする。
針が折れ、ケガの原因になります。

1 操作パネルで No.1 直線ぬい（中央）の模様を設定する。

＊ お絵かきボタンのランプが消灯していることを確認してください。

＊「模様の種類の設定」（44 ページ）を参照してください。



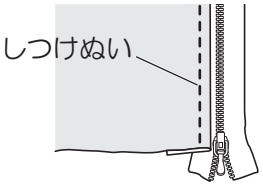
2 ぬい目の長さを設定する。

＊「ぬい目の長さの設定」（46 ページ）を参照してください。

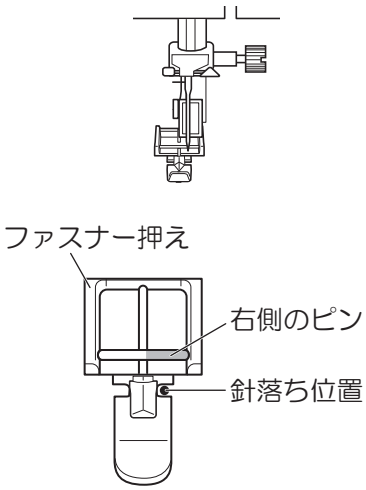
❑ファスナーの左側をぬう場合

1　あらかじめファスナーと布を合わせ、しつけぬいをする。

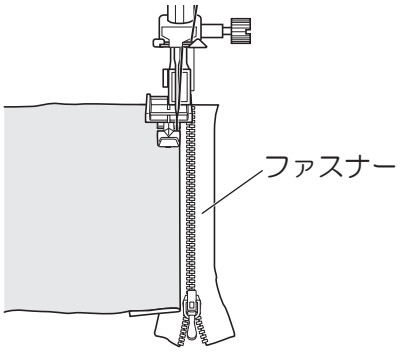
＊ しつけぬいは、手ぬいまたは「しつけぬいのし方」（80 ページ）を参照してください。



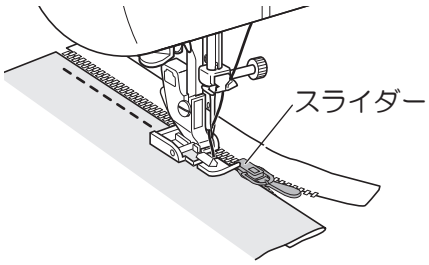
2　ファスナー押えの右側のピンを押えホルダーにセットする。



3　ファスナーが押えの右側にくるように布を置く。



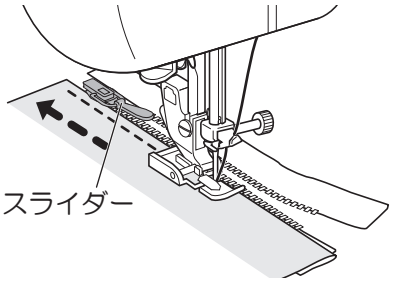
4　押えがスライダーに当たる手前までぬい、ミシンを止める。



5　プーリーを手前に回して針を布に落とす。または、(針上下停止）ボタンを押して針を下げる。

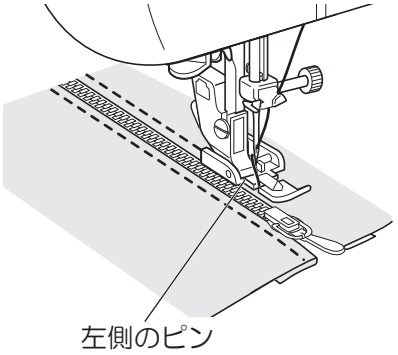
6　押え上げレバーを上げる。

7　スライダーを押えの後ろ側に移動させ、押え上げレバーを下げて残りをぬう。



❑ファスナーの右側をぬう場合

押えを外し、左側のピンにセットする。
左側のぬい方と同じ要領でファスナーの右側をぬう。



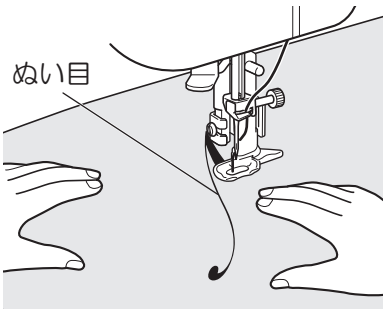
ワンポイント

左側と同方向にぬうとぬいズレを防ぐことができます。

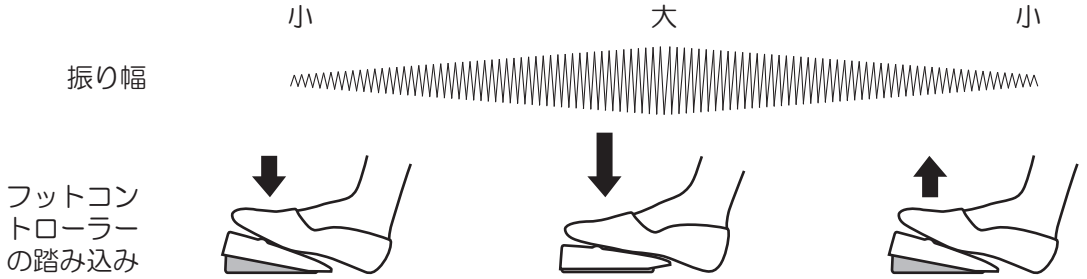
8　お絵かきぬいの基礎知識

お絵かきぬいの特徴

● お絵かきぬいは送り歯を下げてぬうため、布を自由に動かすことができます。



● お絵かきモードのときは、フットコントローラーの踏み込みの強さで針の振り幅を調整することができます。



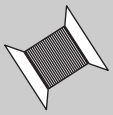
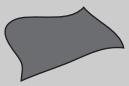
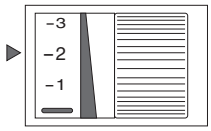
＊ フットコントローラーを軽く踏むと振り幅は小さく、強く踏み込むと振り幅が大きくなります。踏み込みをゆるめると、振り幅が小さくなります。

注記

- フットコントローラーを本体に接続している時は、スタート／ストップボタンを押してもミシンはスタートしません。ぬい終わりは、スタート／ストップボタンでも止められます。
- お絵かきモード設定中は実用ぬいのときとは異なり、フットコントローラーでぬい速度の調整はできません。ぬい速度の変え方は、47 ページを参照してください。
- お絵かきモードのときは、返しぬいボタンの操作はできません。

お絵かきぬいのときの針と糸と布地の関係と糸調子の合わせ方

ぬいの仕上がりは針、糸、布の使い分けにより良くなります。
次の表に従って目的に合わせた糸と針を選んでください。

<table>
<tr><th colspan="2"></th><th>薄地</th><th>普通地</th></tr>
<tr><td rowspan="3">針・糸・布地の関係</td><td rowspan="2">
針
 
糸</td><td>75/11 番</td><td>90/14 番</td></tr>
<tr><td colspan="2">お絵かきぬいのときは、18/110 番の針およびボールポイント針（ニット針）を使用しないでください。
糸に対する針の選び方を参考に針と糸を選択してください。</td></tr>
<tr><td> 
布地</td><td colspan="2">ぬいじわにならないよう、中物～中厚物用の接着芯を布に貼り付けることを推奨します。
布と接着芯には相性があります。試しぬいをしてからお絵かきぬいをしてください。</td></tr>
<tr><td>糸調子の目安</td><td>上糸調子ダイヤル</td><td colspan="2">上糸調子ダイヤル目盛を『-1 ～ -3』に設定して、下糸が布の上に出ないように調整してください。
 
-1 ~ -3</td></tr>
</table>

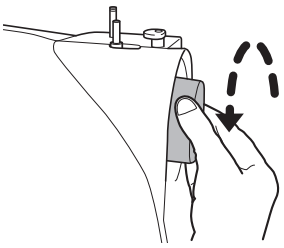
- 付属品にない針は、家庭用ミシン針とご指定のうえ、お買い求めください。
- 上糸と下糸は同じ種類の糸を使います。
- 針の番手が大きくなると針が太くなります。糸の番手が大きくなると糸が細くなります。
- 針・糸・布の組み合わせによって、上糸調子の調整が必要になります。（84 ページを参照してください）

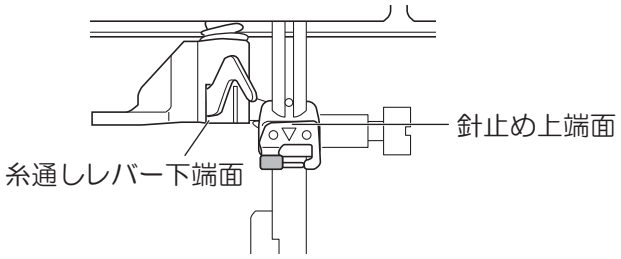
9　ぬってみましょう（お絵かきぬい）

お絵かきぬいの準備

⚠ 注意

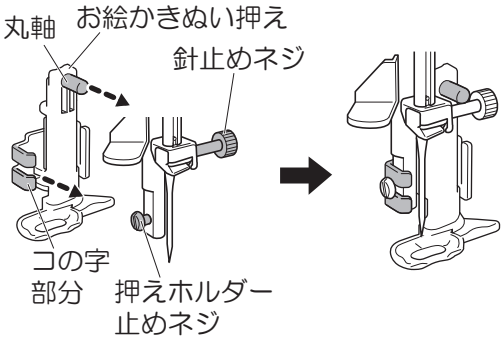
押えを交換するときは電源スイッチを「切」にする。
ケガの原因になります。





1　押えをお絵かきぬい押えに取り替える。

押えと押えホルダーを取り外します。(27 ページ参照)
プーリーを手前に回し、図の如く糸通しレバー下端面と針止め上端面が一致する位置まで針棒を下げます。お絵かきぬい押えの左下のコの字部分を、押えホルダー止めネジに合わせて取り付けます。

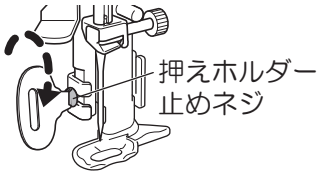


注記

・ お絵かきぬい押えの丸軸の部分が針止めネジの上に配置されていることを確認してください。

2　お絵かきぬい押えを固定する。

右手でお絵かきぬい押えをまっすぐに支えながら、左手で押えホルダー止めネジを針板ドライバーでしめます。



⚠ 注意

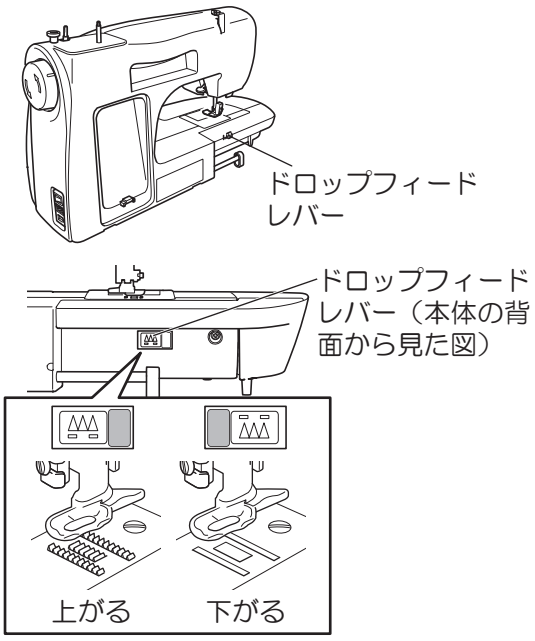
ネジは付属のドライバーでしっかりしめて、針が押えにあたらないことを確認する。
ネジのしめ方がゆるいと、針が押えにあたって、折れたり曲がったりしてケガの原因になります。

3 送り歯を下げる。

押え上げレバーを上げ、ミシン本体背面下側にあるドロップフィードレバーを、背面からみて左側に押し、▀▲▀にして送り歯を下げる。

＊ ドロップフィードレバーの切り替えは、針を上げてから行ってください。（送り歯が下がることを確認してください）

＊ 送り歯を上げるときは、レバーを切り替えたあと、プーリーを手前に１回転させると送り歯が上がります。



4 フットコントローラーを接続する。

お絵かきぬいをするときは、フットコントローラーで針の振り幅を調整します。

＊ お絵かきモードでは、フットコントローラーが差し込まれていないとミシンは起動しません。スタート／ストップボタンを押してもミシンは動き出さず、エラー表示「F9」が表示されます。

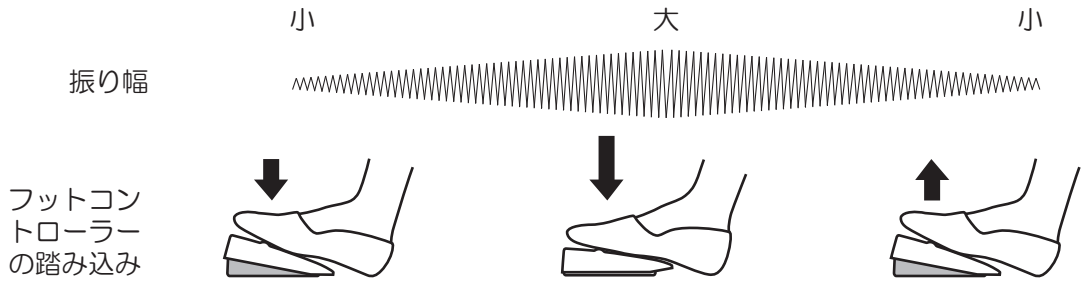
⚠ 注意

フットコントローラーは、必ず電源スイッチを「切」にしてから接続する。
ケガの原因になります。

ワンポイント

＜振り幅調整のポイント＞

フットコントローラーを軽く踏むと振り幅は小さく、強く踏み込むと振り幅が大きくなります。踏み込みをゆるめると、振り幅が小さくなります。



5 OEKAKI モードに切り替える。

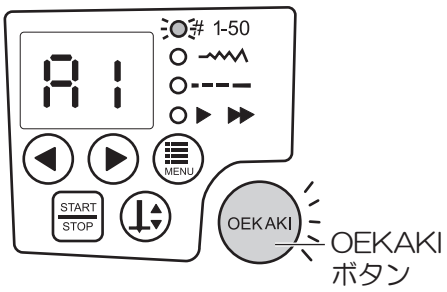
電源を入れ、(OEKAKI)（お絵かき）ボタンを押して緑色に点灯させて、お絵かきモードに切り替えます。

＊ もう一度押すと、ランプが消えて実用ぬいモードになります。

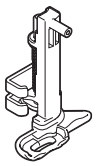
6 操作パネルで、A1 または A2 のぬい模様を選ぶ。

(MENU)（設定切替）ボタンを押して、# 1-50 のランプを点灯させ、◀▶（設定量切替）ボタンで模様番号を A1 または A2 に設定する。

＊ LED 画面に模様番号が表示されます。



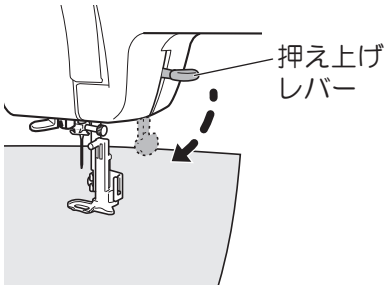
＜使用できる模様＞

No.	用途	押え
A1	左針落ちからのジグザグぬい	お絵かきぬい押え 
A2	中針落ちからのジグザグぬい	

＊ 左針落ちからのジグザグぬいのとき、針は左側を基準にぬい幅が変わります。

＊ 中針落ちからのジグザグぬいのとき、針は中心を基準にぬい幅が変わります。

7 布をセットし、押え上げレバーを下げる。



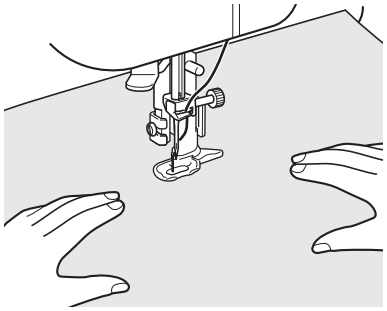
注記

・ 押えレバーを下げても針が上にあるときは布を押えません。
針が下がると布を押えます。

8　布に軽く手を添えてぬう。

＊ フットコントローラーを軽く踏み込むとぬい始めます。

＊ フットコントローラーから足をはなすと止まります。



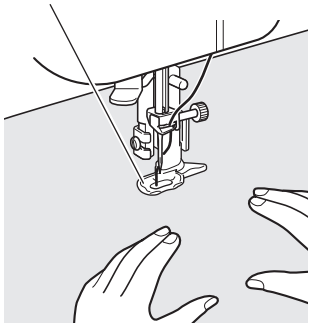
ワンポイント

お絵かきモードのときは、押え上げレバーを上げなくても布を動かすことができます。

⚠ 注意

針などの動いている部分に触れない。
ケガの原因になります。

押えの上に指を入れない。



⚠ 注意

お絵かきぬいでは、ぬう速度に合わせて布を送る。
ぬう速度よりも速く布を動かすと、針が折れ、ケガの原因になります。

ぬっているとき布を無理に引っ張ったり押したりしない。
針が折れ、ケガの原因になります。

＊ ぬい速度の変更は、(MENU)（設定切替）ボタンを押して▶ ▶▶（ぬい速度の設定）に合わせて行ってください。

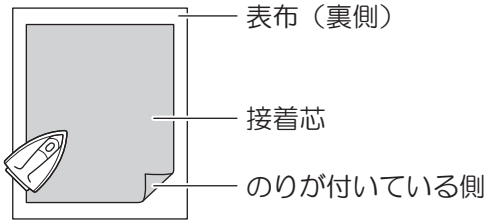
＊ フットコントローラーの踏み込み加減で針の振り幅を変更できますが、最大振り幅を変更することもできます。設定するときは、(MENU)（設定切替）ボタンを押して ～ （振り幅の設定）に合わせて行ってください。

お絵かきぬいの練習

付属のスターターキットを使って、お絵かきぬいの練習をしましょう。

■準備

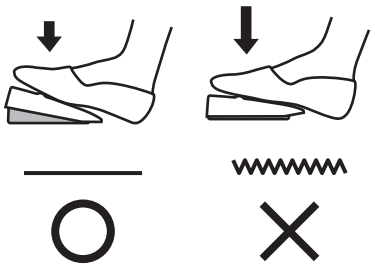
布の裏に接着芯をアイロンで付けます。



■ステップ1（直線をぬう練習）

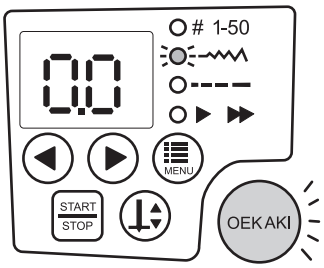
1　フットコントローラーを軽く踏み、ぬい始める。

＊ フットコントローラーを踏み込むとぬい目がジグザグになるため、軽く踏んでください。



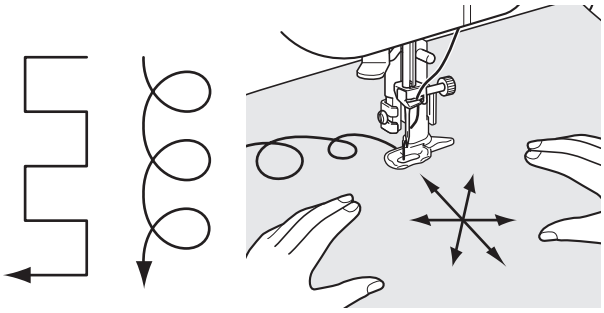
ワンポイント

フットコントローラーの調整が難しい場合は、振り幅の設定を「0」にしてください。針が振らなくなり、直線がぬいやすくなります。



2　イラストに沿って、手で布を動かします。

3　いろいろな方向に、手で布を動かしてぬいます。（前、後ろ、横）



ワンポイント

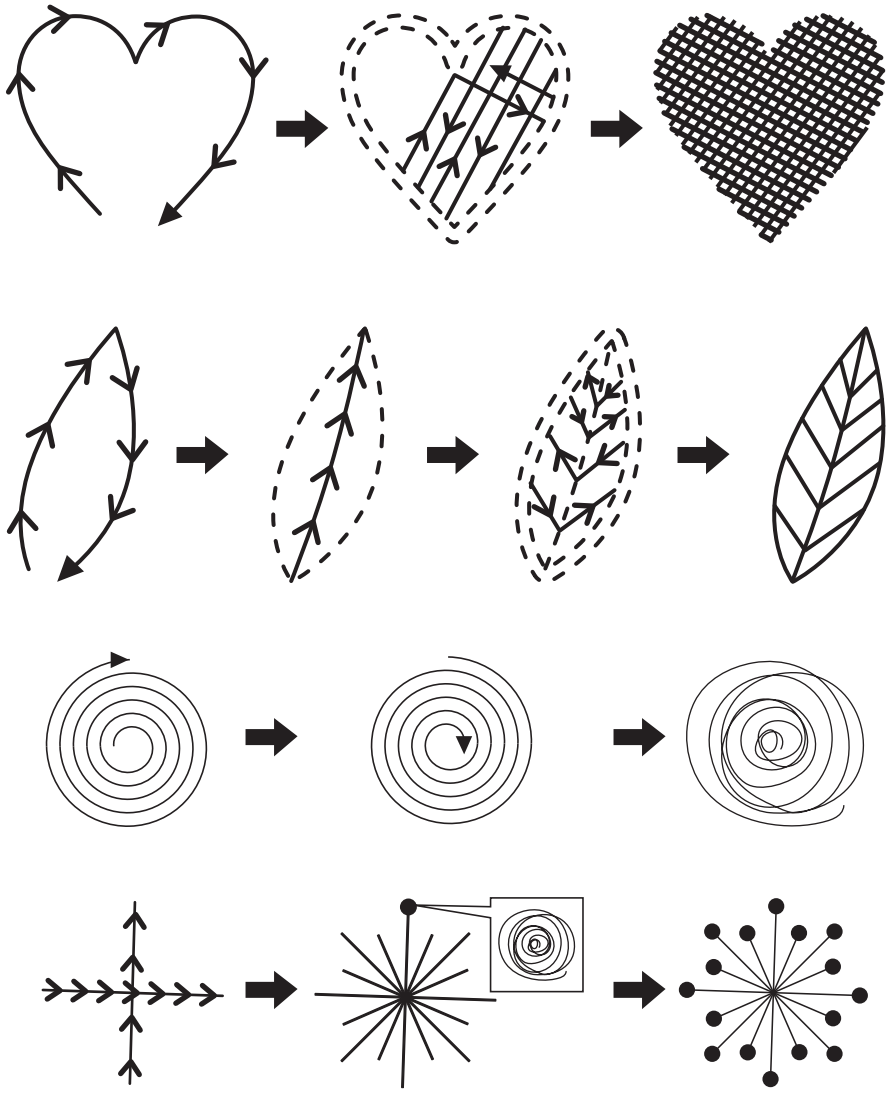
円をえがきながらぬう時は、布を円のように動かします。

■ステップ 2 （図形をぬう練習）

1　絵の輪郭に沿ってぬいます。

2　手で布を送ります。

3　下の図のように矢印に沿ってぬいます。



＊ お絵かきぬいの練習は、ウェブサイトで動画をご覧いただけます。
http://www.egatama.jp/oekaki/

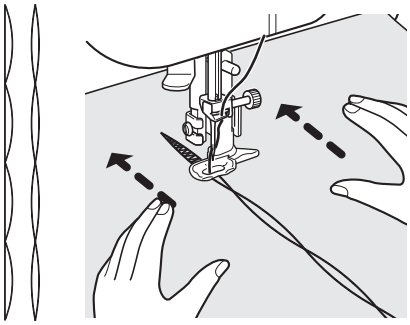
■ステップ 3 (振り幅調整の練習)

何度か練習して、フットコントローラーと布の動かし方での振り幅調整の感覚をつかみましょう。

1　操作パネルで、A1 または A2 の模様を設定する。

2　フットコントローラーを軽く踏み、布をゆっくりと動かしながらぬい始める。

3　イラストに沿って、フットコントローラーを少しずつ踏み込んで振り幅を大きくする。



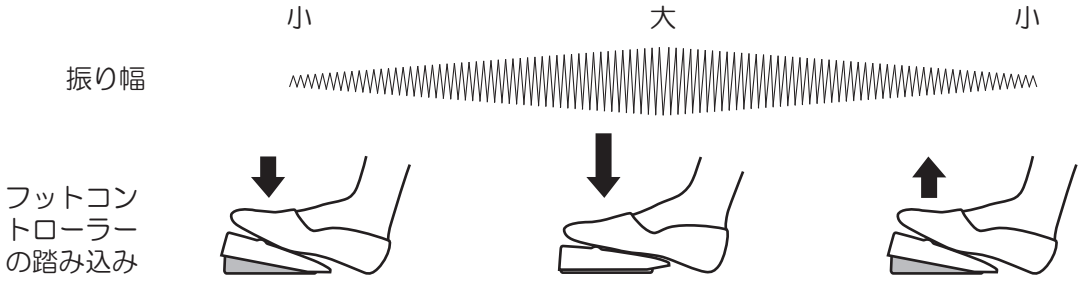
4　フットコントローラーを下まで踏み込んだら、少しずつフットコントローラーをゆるめて振り幅を小さくする。

5　3 ～ 4 を繰り返す。

■振り幅調整のポイント

❑フットコントローラーの操作

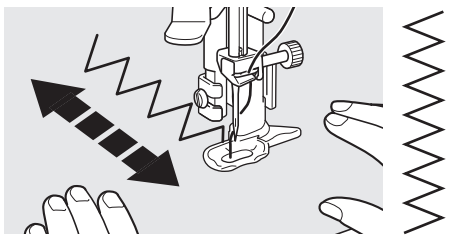
フットコントローラーを軽く踏むと振り幅は小さく、強く踏み込むと振り幅が大きくなります。踏み込みをゆるめると、振り幅が小さくなります。



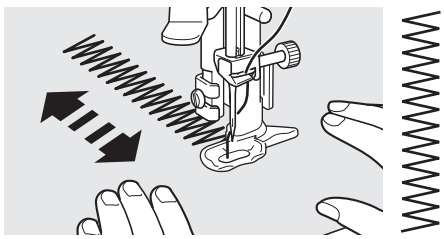
❑布の動かし方

布を速く送るとぬい目が粗くなり、ゆっくり送るとぬい目が細かくなります。

早く送る



ゆっくり送る



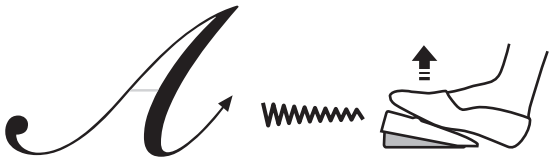
■ステップ 4 （アルファベットをぬう練習）

1 **円の真ん中からスタートして円を大きくしてから円の真ん中に戻ります。**

2 **フットコントローラーを軽く踏みながら、ゆっくり図案に沿って、布を動かす。**

3 **フットコントローラーを踏んで振り幅を太くする。**

4 **フットコントローラーの踏み込みを少しずつゆるめる。**



5 **フットコントローラーを軽く踏みながら、横に布を動かす。**

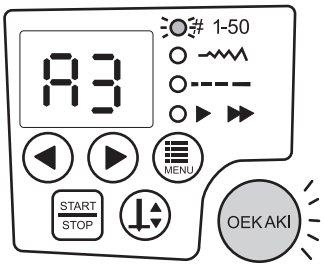
＊ お絵かきぬいの練習は、ウェブサイトで動画をご覧いただけます。
http://www.egatama.jp/oekaki/

しつけぬいのし方

ぬうときに、重ねた布がずれないようにしつけぬい（仮ぬい）をミシンで行うことができます。

1 「ぬってみましょう（お絵かきぬい）」（72 ページ参照）の手順 1 ～ 5 を行う。

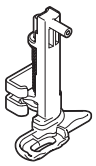
2 操作パネルで、A3 のぬい模様を選ぶ。



（設定切替）ボタンを押して、# 1-50 のランプを点灯させ、（設定量切替）ボタンで模様番号を A3 に設定する。

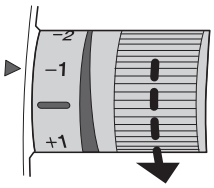
＊ LED 画面に模様番号が表示されます。

＜使用できる模様＞

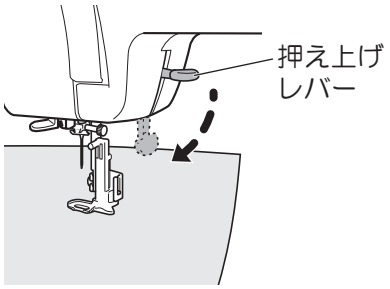
No.	用途	押え
A3	しつけぬい（左針落ち）	お絵かきぬい押え 

3 糸調子を変更する。

上糸調子ダイヤルを回し、「-1」に設定します。



4 布をセットし、押え上げレバーを下げる。

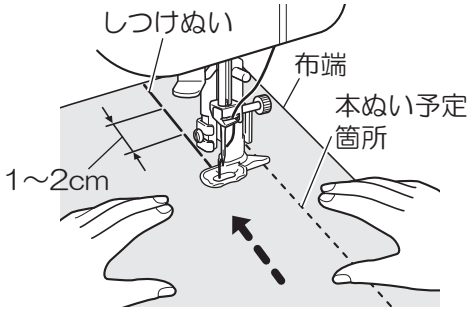


5 布に軽く手を添え、フットコントローラーを踏む。

注記

・ 模様 A3 を選択した場合、フットコントローラーを踏むと 1 針だけぬいます。踏み続けても 1 針しかぬいません。

6　しつけぬいをしたい方向に布を1～2cm程度移動させる。



7　5～6を繰り返し、しつけぬいをする。

8　実用ぬいの設定に変更し、本ぬいをしたあと、しつけぬいをした糸を引っ張り、しつけぬいをほどく。

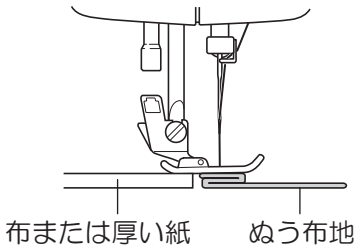
10 よくある質問

厚い布地・薄い布地をぬいたい

■厚い布地をぬう

厚地を布端からぬうときは、押えが傾いて布地を送らないことがあります。

使用する布地と、同じ厚さの布地または厚紙を押えの下にあてがってぬうと、スムーズにぬうことができます。

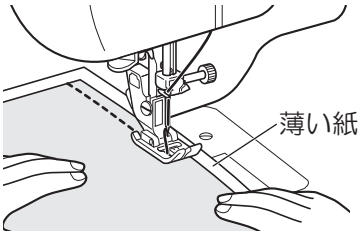


■薄い布地をぬう

薄地をぬうとき、布がちぢんだり、布地を正しく送らないことがあります。

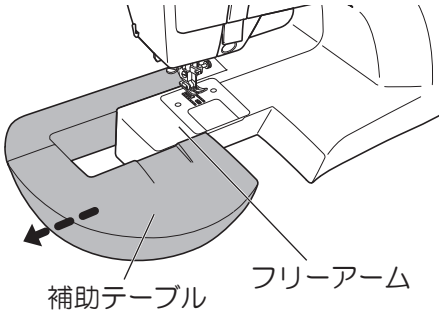
このようなときは薄い紙を布の下に敷くと、スムーズにぬうことができます。

＊ぬったあと、薄い紙をゆっくりと引きはがしてください。

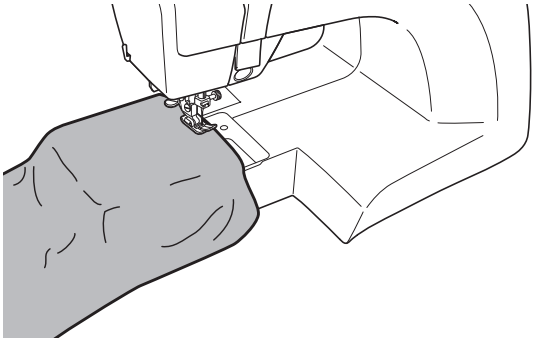


筒物の布地をぬいたい

1　補助テーブルを矢印の方向へ外し、フリーアームにする。



2　ズボン、袖口などの筒物を図に示すようにフリーアームに差し込んでぬう。



レザーやビニール地をぬいたい

■スムース押えを使ってぬう

レザーやビニールなどのすべりが悪い素材をぬうときに使うと、布送りがスムーズです。

等間隔でぬいたい

■キルティングガイドを使ってぬう

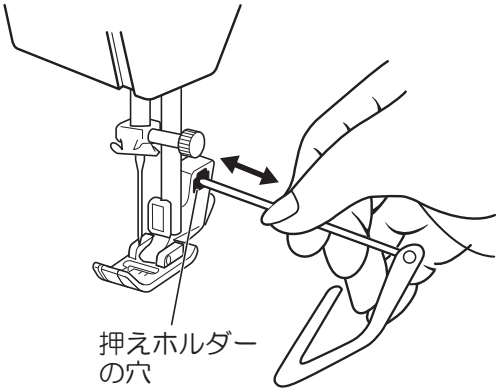
キルティングをするときなど、等間隔でぬうのに便利です。

⚠ 注意

キルティングガイドを差し込む時はミシンの電源を切る。
ケガの原因になります。

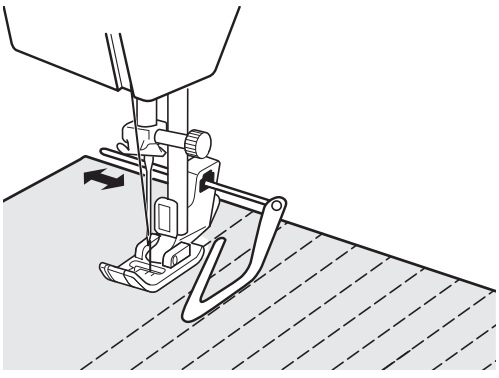
1　キルティングガイドを押えホルダーの穴に差し込みます。

＊ 横に動かしてキルティングガイドの位置を調整します。



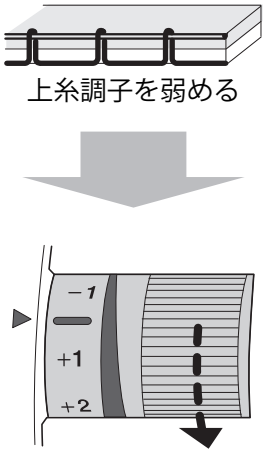
2　えんぴつやチャコペンで 1 本目の線を引き、その線に沿ってぬいます。2 本目は 1 本目のぬい目ガイドを沿わせてぬいます。

＊ 線の間隔はキルティングガイドを矢印の方向に動かして調節します。

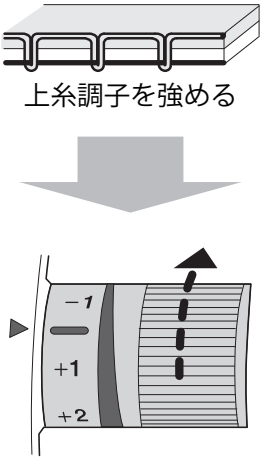


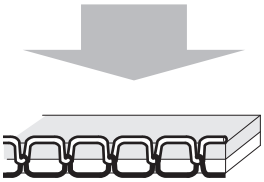
上糸調子の調整

■ 上糸が強い



■ 上糸がゆるい





ワンポイント

上糸調子を調整しても変わらない場合は、上糸と下糸をセットし直してください。
糸よりが強い糸の場合は、上糸の調子を弱めに設定（-3 〜 -2）すると、ぬい目がとびにくくなります。

メモ

布がミシンから取れなくなった

布がミシンから取れなくなった場合、糸が針板の下でからんでいることが考えられます。このようなときは**無理に布を引っ張らないでください。故障の原因となります。**

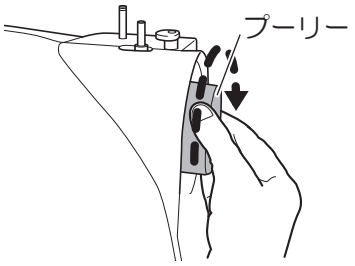
⚠ 注意

安全のために必ず電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜く。
ケガの原因になります。

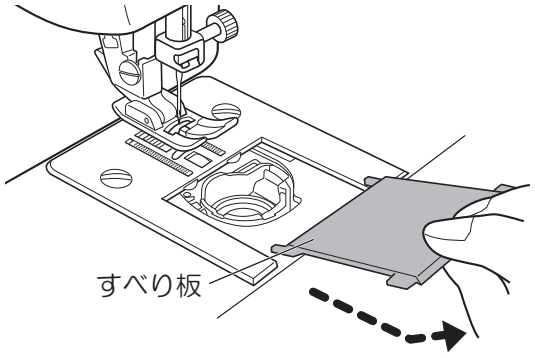
1 押えと針を外す。

お願い

- 針が布に刺さっている場合は、プーリーを奥に回して布から針を外してください。
  - ＊ 押えの外し方は 25 ページへ
  - ＊ 針の外し方は 24 ページへ

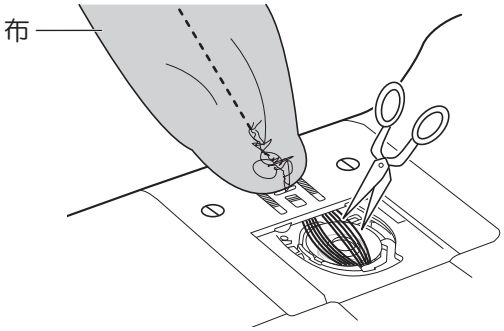


2 すべり板を外す。

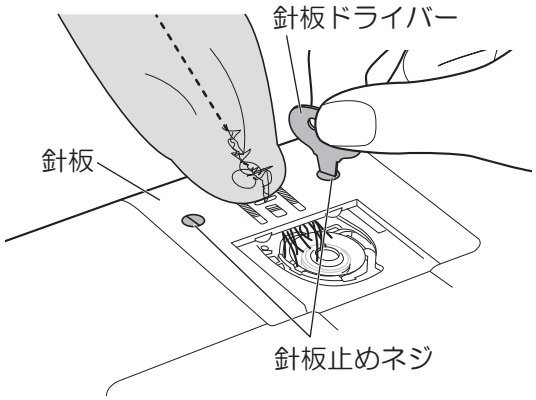


3 からんだ糸を切る。

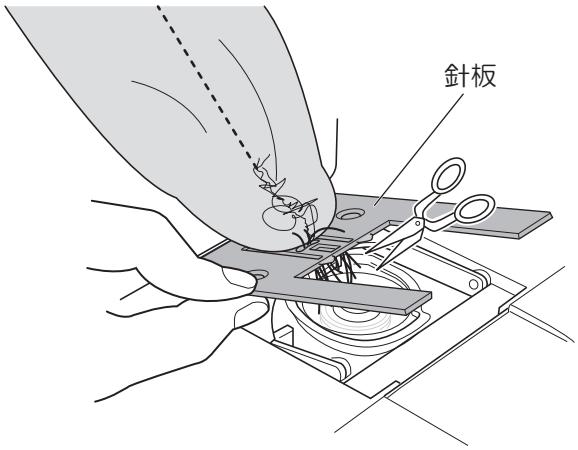
- ＊ ここまでで布を取り外せた場合
  「送り歯とかまのお手入れ」（94 ページ）へ
- ＊ 布を取り外せなかった場合
  4 の手順へ



4　付属の針板ドライバーで針板止めネジを 2ヶ所取り外す。



5　針板を少し持ち上げ、からんだ糸を切り、針板を外す。



6　ボビンケースを外し、かまや送り歯のまわりの糸を取り除く。

＊「送り歯とかまのお手入れ」（94 ページ）を参照してください。

＊ 布を取り外せなかった場合は、購入先にお問い合わせください。

⚠ 注意

部品の角などで指を切らないようゆっくりと作業する。
ケガの原因になります。

11 困ったときには

ミシンの調子が悪いとき

どこの調子が悪いのですか？
修理を依頼される前に、次のことを順番に確かめましょう。

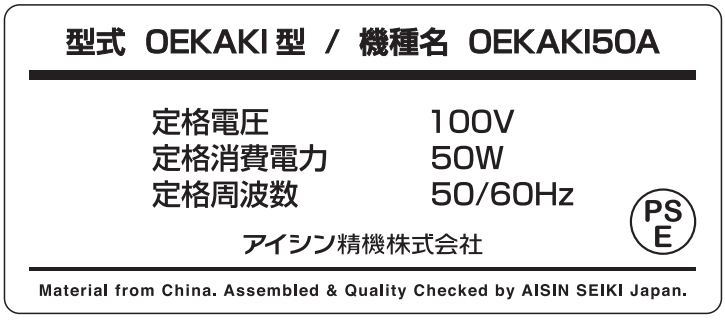
現象	原因	処置	ページ
ミシンが動かない	電源プラグが差し込まれていない	電源プラグを正しく接続する	22
	電源スイッチが「切」になっている	電源スイッチを「入」にする	22
	かまに糸が噛んでいる	かま部の掃除をしてください	86、94
	かまに折れた針が挟まっている		
	下糸巻き軸が右になっている	下糸巻き軸を左に戻す	31
	押え上げレバーを上げたままにしている	押え上げレバーを下げる	26
	フットコントローラーを差したままスタート／ストップボタンを押している	フットコントローラーを外す、またはフットコントローラーでスタートする	18
音が高い回転が遅い	かま、送り歯に糸くずやごみがたまっている	糸くず、ごみを取り除く	94
糸通しができない	針が正しい位置にない	針上下停止ボタンを押して針を上げる	16
	糸通しレバーのフックが針穴に入らない	針上下停止ボタンを押して針を上げる	16、38
	針の取り付け方がまちがっている	針を正しく取り付ける	24
	針が曲がっている	正しい針に取り替える	23
針が折れる	針の取り付け方が間違っている	針を正しく取り付ける	24
	針止めネジがゆるんでいる	ネジをしっかり締めつける	24
	布地にくらべて針が細すぎる	布に適した針を使う	52、71
	上糸の調子が強すぎたり弱すぎたりする	上糸の調子を調整する	84
	ボビンケースが正しい位置に入っていない	ボビンケースを正しい位置に入れる	96
	ぬい模様に合った押えを使用していない	ぬい模様に合った押えを使用する	48
上糸が切れる	上糸、下糸のかけ方が間違っている	上糸、下糸を正しくかけ直す	32、34
	ボビンケースやかまに糸がからみついている	送り歯とかまの糸くずを取り除く	94
	針の太さに対して糸が細すぎる	針の太さに合った糸を使う	52
	上糸の調子が強すぎたり弱すぎたりする	上糸の調子を調整する	84
	針が曲がっている	正しい針に取り替える	23
	針先がつぶれている		
	針の取り付け方が間違っている	針を正しく取り付ける	24
	糸が古い	新しい糸を使用する	—
下糸が切れる	下糸のセットのし方が間違っている	下糸を正しくセットする	32

現象	原因	処置	ページ
ぬい目にならない／針の穴だけ布にあく	上糸を針の後ろから前に通している	上糸を針の前から後ろに通す、または糸通し器を使う	37、38
	糸よりの強い糸を使っている	糸を交換する、または上糸の調子を -3 ～ -2 に調整する	52
	針の太さに対して糸が細すぎる	針の太さに合った糸を使う	52
ぬい目はできるが、引っ張ると抜ける	返しぬいができていない	返しぬいをする	55
	上糸の調子が合っていない	上糸の調子を調整する	84
下糸がすくい上げられない	針が曲がっている	正しい針に取り替える	23
	針の取り付け方が間違っている	針を正しく取り付ける	24
布を送らない	送り歯が下がっている	ドロップフィードレバーで送り歯を上げる	73
	送り歯に糸くずやほこりがたまっている	送り歯とかまの糸くずを取り除く	94
	ぬい目が細かすぎる	ぬい目の長さを長くする	46
	合皮やビニール地をぬっている	スムース押えを使用する	7
ぬい速度が変わらない	お絵かきモードにおいてフットコントローラーでぬい速度を変えようとしている	お絵かきモードのときは「ぬい速度の設定」をボタン操作で設定します	47
ぬい目がとぶ	針の取り付け方が間違っている	針を正しく取り付ける	24
	針が曲がっている	正しい針に取り替える	23、24
	布地に対し針と糸が合っていない	布に適した針と糸を使う	52、71
	上糸のかけ方が間違っている	上糸を正しくかけ直す	34
	お絵かきぬいのときに接着芯を貼っていない	接着芯を貼る	76
布がしわになる	上糸の調子が強すぎる	上糸の調子を調整する	84
	上糸、下糸のかけ方が間違っている	上糸、下糸を正しくかけ直す	32、34
	布地にくらべて針が太すぎる	布に適した針を使う	52、71
	針がつぶれている、曲がっている	正しい針に取り替える	24
	伸縮性のある布地をぬっている	ボールポイント針を使用する	―
		伸縮地に適した模様と送りを選択する	48
	お絵かきぬいのときに接着芯を貼っていない	特に伸びる布地、薄地、目の粗い布地、ぬい縮みしやすい布地は接着芯を貼ります	76
布の表がつっている	下糸のセットのし方が間違っている	下糸をセットし直す	32
	上糸の調子が強すぎる	上糸の調子を調整する	84
	ボビンがボビンケースに正しく入っていない	ボビンを正しくボビンケースに入れる	32
	専用ボビンを使用していない	専用ボビンを使用する	7
	金属ボビンを使用している		

現象	原因	処置	ページ
布の裏に糸がたくさん出る	上糸、下糸のかけ方が間違っている	上糸、下糸を正しくかけ直す	32、34
	上糸の調子が弱すぎる	上糸の調子を調整する	84
	上糸のかけ方が間違っている（糸案内に糸が通っていない）	上糸を正しくかけ直す	34
布の裏側に糸がからむ	天びんから糸が外れている	押えを上げてからもう一度糸を正しくかけ直す	34
	上糸のかけ方が間違っている		
	下糸がボビンケースのみぞから外れている	下糸を正しくセットする	32
お絵かきぬいのときに振り幅が振らない	フットコントローラーが外れている	フットコントローラーを差し直す	18
	お絵かきボタンのランプが消えている	お絵かきボタンを押してランプを点灯させる	74
	お絵かきの模様で、A3 のぬい模様を選択している	A1 または A2 のぬい模様を選択する（A3 はしつけぬいの模様です）	74
	操作パネルで振り幅が「0」または小さい値が設定されている	振り幅の設定値を大きくする、または使用に合わせた値にする	75、76
ドロップフィードレバーの切り替えができない	針が下がった位置で切り替えしようとしている	針を上げてから切り替える	73
送り歯が上がらない	送り歯が切り替わる位置になっていない	プーリーを手前に 1 回転させて送り歯を上げる	73

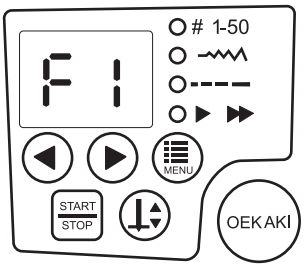
処置しても問題が解決しない場合は、「お客様相談室」かお買い求めの販売店へ連絡してください。

修理の依頼の際は、ミシンの背面に記載されている「型式」と「機種名」をご確認のうえ、お問い合わせください。



メモ

エラー表示が出たとき



誤って操作をしたときは F1 ～ F9 の警告が LED 画面に表示されます。再度、正しい方法でやり直してください。

LED 表示画面	原因	処置
F1	厚すぎる布地など、モーターへの負荷が許容値を超えた場合に表示され、ミシンは停止します	適切な厚みの布地を使って、やり直してください
F2	押えを上げたまま、スタート / ストップボタンでスタートした場合や、フットコントローラーを操作した場合に表示されます	押え上げレバーを下げてください
F3	ボタンホール模様を選択しているのに、ボタンホールレバーがボタンホール押えにセットされていない場合に表示されます	ボタンホールレバーを下げて、ボタンホール押えにセットしてください
F4	ボタンホール模様以外を選択しているのに、ボタンホール押えにボタンホールレバーがセットされたままになっている場合に表示されます	模様に合った押えに交換して、ボタンホールレバーを上げてください
F5	ミシン動作中にフットコントローラーのコネクターを差し込むと表示され、ミシンは緊急停止します	電源スイッチを「切」にしてから、フットコントローラーのコネクターを差し込んでください
F6	ミシン作動中に、フットコントローラーのコネクターを抜いた場合に表示され、ミシンは緊急停止します	電源スイッチを「切」にしてから、フットコントローラーのコネクターを抜いてください
F7	ミシン作動中に下糸巻き軸を右へ移動させた場合に表示され、ミシンは緊急停止します	下糸巻き軸を待機位置（左）に戻してください
F8	下糸巻きをしているときに、下糸巻き軸を左に戻した場合に表示され、ミシンは緊急停止します	ミシンが停止している状態で、下糸巻き軸を操作してください

LED 表示画面	原因	処置
F9	次のような操作間違いがあった場合に表示され、ミシンは動きません	—
	1 フットコントローラーを差したまま、スタート / ストップボタンで起動しようとしている	1 フットコントローラーを差しているときは、フットコントローラーで起動してください
	2 お絵かきモードのときに、スタート / ストップボタンや返しぬいボタンを操作している	2 お絵かきモードのときは、フットコントローラーを使用してください
	3 ボタンホール模様を選択しているときに、返しぬいボタンを操作している	3 ボタンホール模様のときは、スタート / ストップボタンまたはフットコントローラーを使用してください
	4 下糸巻きのときに、針上下停止ボタンや返しぬいボタンを操作している	4 下糸巻きのときは、スタート / ストップボタンまたはフットコントローラーで起動してください
P0 ～ 9 または PF	電源スイッチを入れる際に、誤った操作をした場合に表示されます	サービスマン用の調整モードになっていますので、電源を入れなおしてください

＊以上の表示は 2 ～ 3 秒後に消えますが、処置が必要なものは処置を行ってください。

お願い

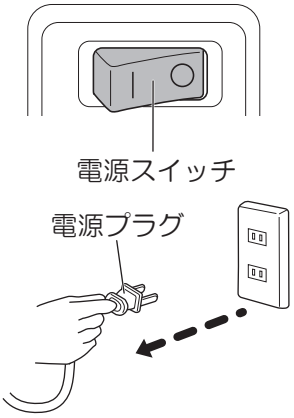
- **適正な処置を行っても、これらの表示が改善されない場合は、使用をやめ、購入先にお問い合わせください。**
- **上記表示以外の E1 ～ E9 が表示された場合は、ミシンに異常があることを示しています。直ちに使用をやめ、購入先にお問い合わせください。**

12 ミシンのお手入れと保管

送り歯とかまのお手入れ

⚠ 注意

安全のために必ず電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜く。
ケガの原因になります。



お願い

- 洗剤、漂白剤、ベンジン、シンナー、化学布は使用しないでください。変色やひび割れの原因になります。

  ＊ボビンケースやかまに糸がからんだ場合、又はボビンケースの位置がずれた場合も、次の手順を参照してください。

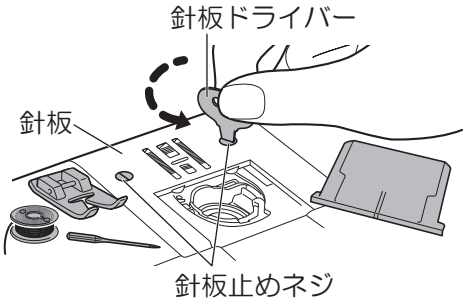
  ＊子供がミシンのお手入れをするときは、監督者の下で行ってください。

■お手入れの方法

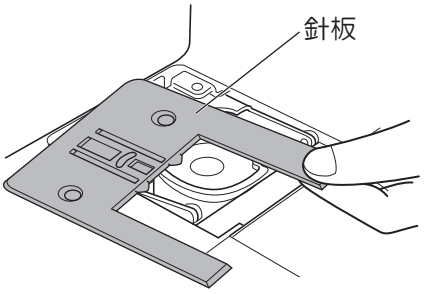
1　針、押え、すべり板、ボビンを外す。

付属の針板ドライバーで針板止めネジ2ヶ所を左に回してとり外す。

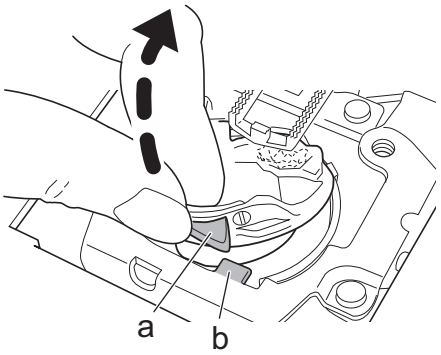
＊針の外し方は24ページへ
押えの外し方は25ページへ



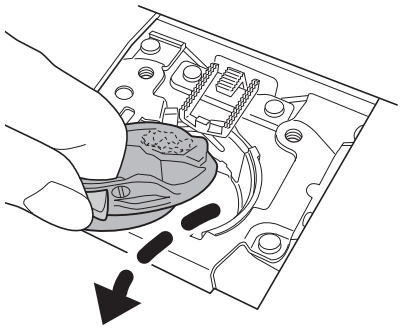
2　針板を取り外す。



3 **図のように、ボビンケース a 部がミシン b 部を乗り越えるまで、ボビンケースを上に持ち上げる。**



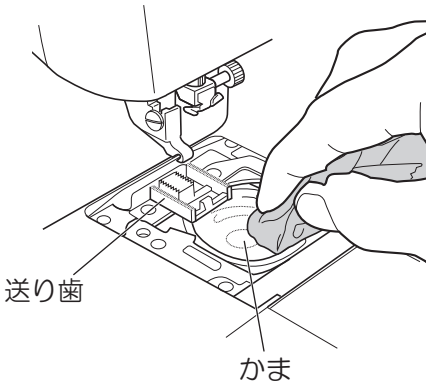
4 **ボビンケースを矢印方向に引き抜き、取り出す。**



お願い

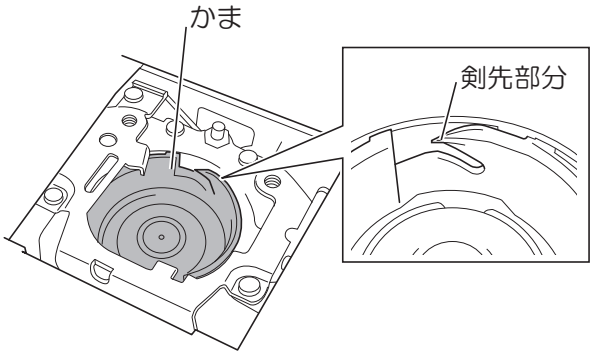
- 無理に引き抜かないでください。ボビンケースにキズがつくおそれがあります。
  ＊ 引き抜けない場合は、手順 **3** からやり直してください。

5 **送り歯とかまの糸クズやほこりを取り除き、やわらかい布でふきとる。**



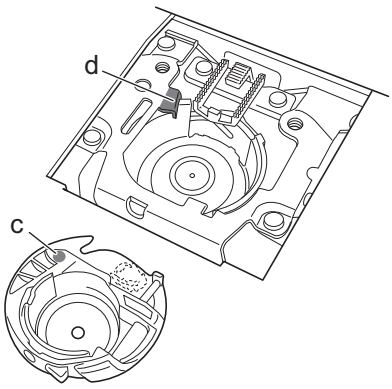
⚠ 注意

かまのそうじをするときは、鋭利な剣先部分に触れない。
ケガの原因になります。

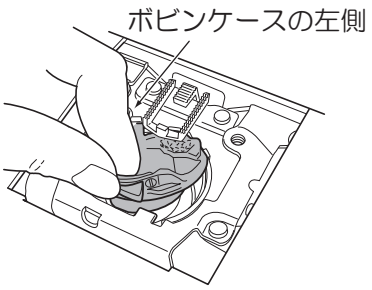


■ ボビンケースの取り付け

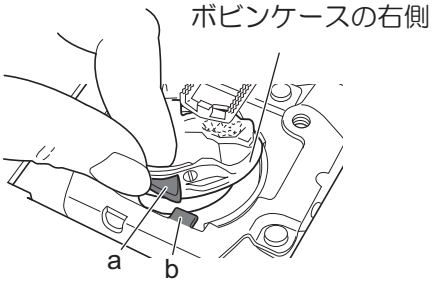
1 **ボビンケースの点 c 部がミシン d 部の手前になるよう、ボビンケースの向きを合わせる。**



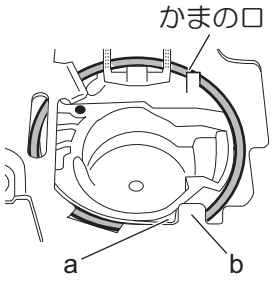
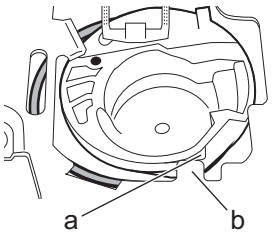
2 **図のようにボビンケースを左に傾けながら、ボビンケースの左側をかまの内部に入れ込む。**



3 **ボビンケース a 部がミシン b 部の左側にくるように、ボビンケースの右側をかまの内部に入れ込む。**



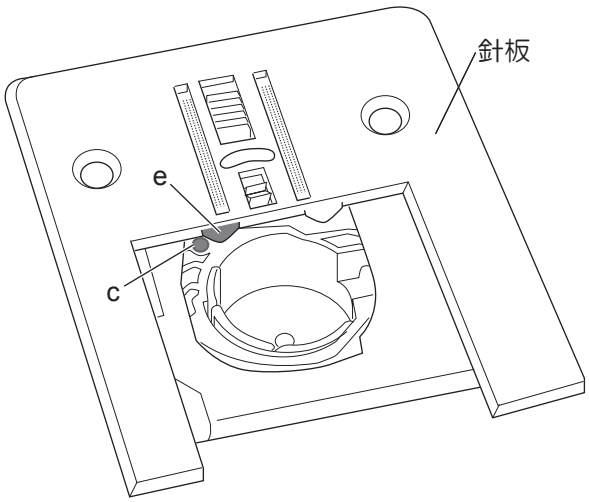
4 ボビンケースがかまの内部におさまっていることを確認する。

❑正しい状態	❑間違った状態
• ボビンケース全体がかま内部に入っており、かまの口全体が見える。 • ボビンケース a 部がミシン b 部の左側にきている。	• ボビンケースの右側が、かまの口にかぶっており、ボビンケースが斜めになっている。 • ボビンケース a 部がミシン b 部の上にきている。
 ○	 ×

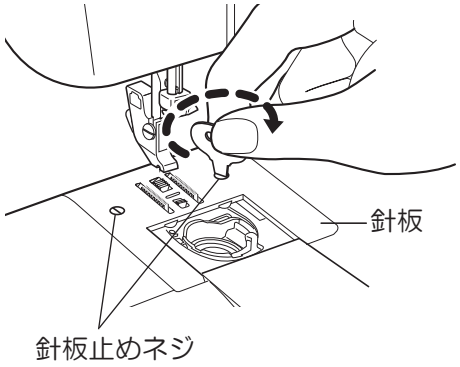
お願い

- プーリーを **2** ～ **3** 回手前に回したとき、ボビンケースが安定しない場合や、上記右図のように間違って取り付けられている場合は、手順 **1** からやり直してください。

5 ボビンケースの点 c 部が針板 e 部の左横の位置（右図）になるように、針板を取り付ける。



6　針板ドライバーで針板止めネジ 2ヶ所を右に回してしめる。



7　押えと針を取り付ける。

⚠ 注意

針が針穴に正しく入るかを確認するときは、プーリー以外での操作はしない。
ケガの原因になります。

8　プーリーを回して針が針穴に正しく入るかを確認する。

＊ ボビンケースが正しく取り付けられていないと、プーリーは重くスムーズに回りません。このようなときは、針板とボビンケースを外し、再度取り付けてください。

＊ 針の取り付け方は 24 ページへ
押えの取り付け方は 26 ページへ

保管方法とお願い

⚠ 注意

小さなお子様の手の届く場所に置かない。
針などに触れて、ケガをする原因になります。

■保管方法

保管するときは、次のことに注意してください。故障や変色、破損の原因になります。

- 湿気やほこりの多い場所には置かないでください。
  ＊付属のソフトカバーをかけて保管することをおすすめします。
- 直射日光の当たる場所や熱器具の近くには置かないでください。
- 不安定な場所に置かないでください。
- 逆さまや横倒しにして置かないでください。
- 油煙や湯気の当たる場所に置かないでください。

お願い

- 業務用としてのご使用はお控えください。過負荷による故障の原因となります。

- このミシンは日本国内向け、家庭用です。外国では使用できません。
  This sewing machine can not be used in a foreign country as designed for Japan.
- 業務用として使用する場合の保証はいたしかねますのでご了承ください。
- 仕様および外観は、品質改良のため予告なく変更することがありますのでご了承ください。
- 取扱説明書の内容を許可なく無断で複製することは禁じられておりますのでご了承ください。
- 取扱説明書の内容は予告なく変更することがありますのでご了承ください。

13 保証とアフターサービス

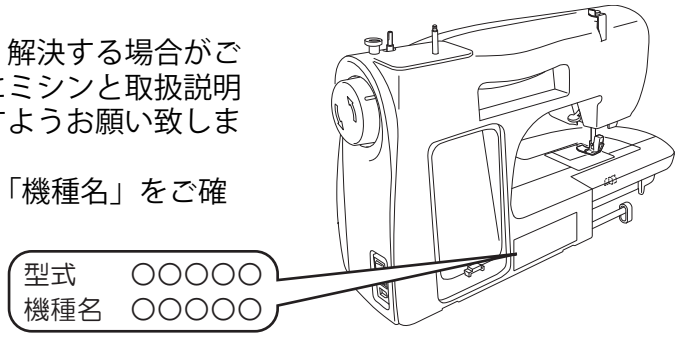
⚠ 注意

修理、分解、改造はしない。
感電・火災や異常作動によるケガの原因になります。

1. **万一、お客様の正常なご使用状態でミシンが故障した場合、お買い上げ日より、１年間無料修理させていただきます。無料修理は、故障製品を弊社までお送り頂き、修理完了後、お客様に返送することとします。無料修理をお受けいただく際には、保証書が必要となります。この保証書にご購入日、販売店名の記載がない場合は、納品書または領収書が必要になります。**
2. **保障期間後も、有料にてアフターサービスを承っておりますので、ご遠慮なくご相談ください。ただし、長期間にわたって使用された場合、新品同様の性能までに修理できないことがありますので、ご了承願います。**
3. **当社では、この製品の補修用性能部品は、製造打ち切り後８年間保有しております。（補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。）**
4. **出張修理は、お受けいたしておりませんので、あらかじめ了承ください。**
5. **修理・不具合に関するお問い合わせは、お買い上げの販売店及び下記「お客様相談室」で受け付けております。**

【お問い合わせ先】
お客様相談室　0120-24-8640（フリーダイヤル）
受付時間：8:30 ～ 17:30
（土日・年末年始・ゴールデンウィーク・夏季休暇は除く）

【お問い合わせ時のお願い事項】
＊ お電話での故障診断及び操作確認により、解決する場合がございますので、お手数ですが、お電話口にミシンと取扱説明書をご用意いただき、ご連絡いただきますようお願い致します。
＊ ミシン背面に貼付記載されている「型式」「機種名」をご確認のうえお問い合わせください。



【付属品及び別売品のご購入】
当社ホームページからご購入いただけます。（http://www.egatama.jp）
パソコンをお持ちでない方は、以下弊社窓口へお問い合わせください。
アイシン精機株式会社　お客様相談室　0120-24-8640（フリーダイヤル）
受付時間：8:30 ～ 17:30
（土日・年末年始・ゴールデンウィーク・夏季休暇は除く）

仕様

型式	OEKAKI
かまのタイプ	水平全回転がま
針	家庭用ミシン針（HA-1）
ボビン	アイシン専用樹脂ボビン
最大送り量	4 mm
最大振幅	5 mm
直線針落ちの位置	中央基準、左基準
ミシンの重さ（本体）	6.5 kg
ミシンのサイズ	幅：470 mm 奥行 : 234 mm 高さ : 294 mm
定格電圧	交流 100V
定格周波数	50 ～ 60Hz
定格消費電力	50W

フットコントローラー	
型式	678560-DJE10
電圧 / 直流 / 電流	DC5V(電流なし)

ミシンについてのお問い合わせ、ご相談は保証書をご確認ください。

メモ

メモ

製造販売元 : アイシン精機株式会社
〒 448-8650　愛知県刈谷市朝日町 2 丁目 1 番地
お客様相談室
フリーダイヤル　0120-24-8640
受付時間：8:30 ～ 17:30
（土日・年末年始・ゴールデンウィーク・夏季休暇は除く）

679111-DJE10